



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成29年12月調査分)

《景気の現状判断DI》

	平成29年9月	平成29年12月	前回調査比
茨城県	48.8	51.5	+2.7
県北地域	52.5	53.3	+0.8
県央地域	51.7	51.3	△0.4
鹿行地域	47.9	58.3	+10.4
県南地域	48.6	50.0	+1.4
県西地域	43.2	44.6	+1.4

《景気の先行き判断DI》

	平成29年9月	平成29年12月	前回調査比
茨城県	51.1	51.3	+0.2
県北地域	54.6	51.3	△3.3
県央地域	53.4	50.0	△3.4
鹿行地域	51.7	55.0	+3.3
県南地域	48.2	51.7	+3.5
県西地域	47.5	48.3	+0.8

平成30年1月

茨城県企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2632

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html>

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、太子町
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客体数】

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	36	36	36	184
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業等	19	16	19	19	19	92
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	300 人	100.0%
県北地域	60 人	60 人	100.0%
県央地域	60 人	60 人	100.0%
鹿行地域	60 人	60 人	100.0%
県南地域	60 人	60 人	100.0%
県西地域	60 人	60 人	100.0%

4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断 (方向性)
- (2) (1) のコメント (理由)
- (3) 景気の先行きに対する判断 (方向性)
- (4) (3) のコメント (理由)
- (5) その他景気に関する意見 (自由回答)

5 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成29年12月調査の調査期間は、平成29年12月5日から平成29年12月31日である。

6 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方角性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方角性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

Ⅱ 調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは51.5となった。平成29年9調査（以下、「前回調査」という。）より2.7ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

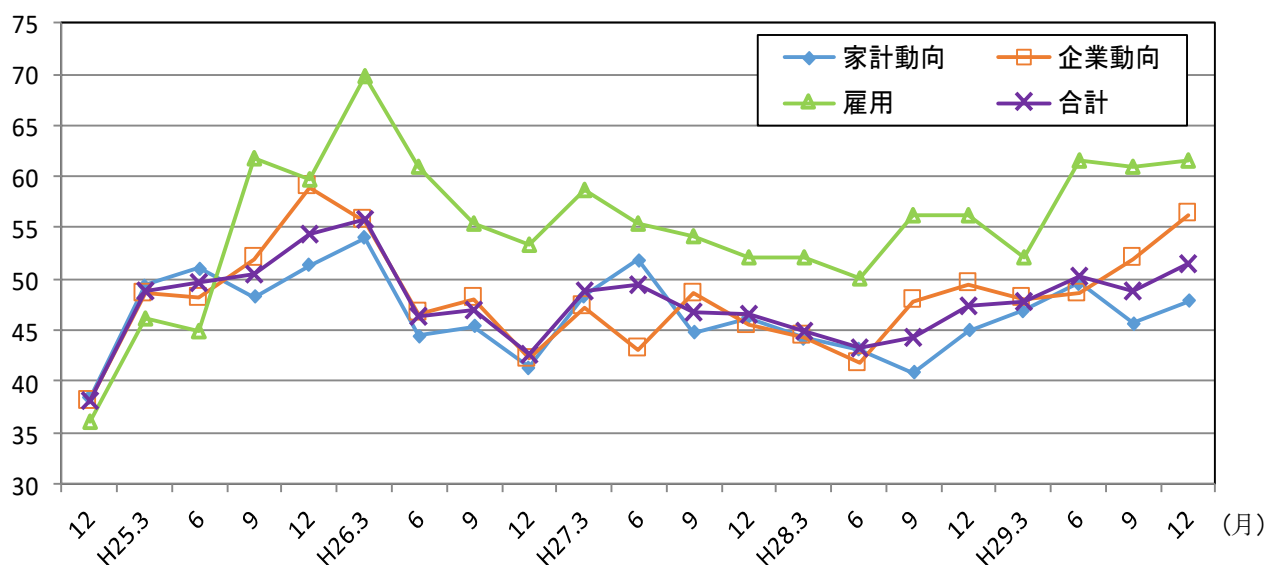
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年	平成29年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		47.3	47.7	50.3	48.8	51.5
家計動向関連		45.0	46.9	49.6	45.7	47.8
小売関連		43.1	47.1	50.0	43.6	44.1
飲食関連		46.9	48.9	51.0	43.5	47.9
サービス関連		45.9	45.4	47.4	46.5	49.4
住宅関連		47.2	52.8	61.1	61.1	63.9
企業動向関連		49.5	48.0	48.6	52.0	56.3
農林水産業		50.0	37.5	50.0	57.1	50.0
製造業		50.5	46.3	47.9	54.3	54.6
非製造業		47.9	52.9	49.3	47.9	60.0
雇用関連		56.3	52.1	61.5	60.9	61.5

表1-2 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成28年12月	2.4%	17.6%	53.1%	20.7%	6.2%
平成29年3月	2.1%	17.0%	53.8%	23.6%	3.5%
平成29年6月	2.4%	23.5%	50.3%	20.4%	3.4%
平成29年9月	1.7%	20.2%	53.8%	20.2%	4.1%
平成29年12月	3.0%	25.3%	50.0%	18.0%	3.7%

(DI) 図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは51.3となった。前回調査より0.2ポイント上昇し、横ばいを表す50を4期連続で上回った。

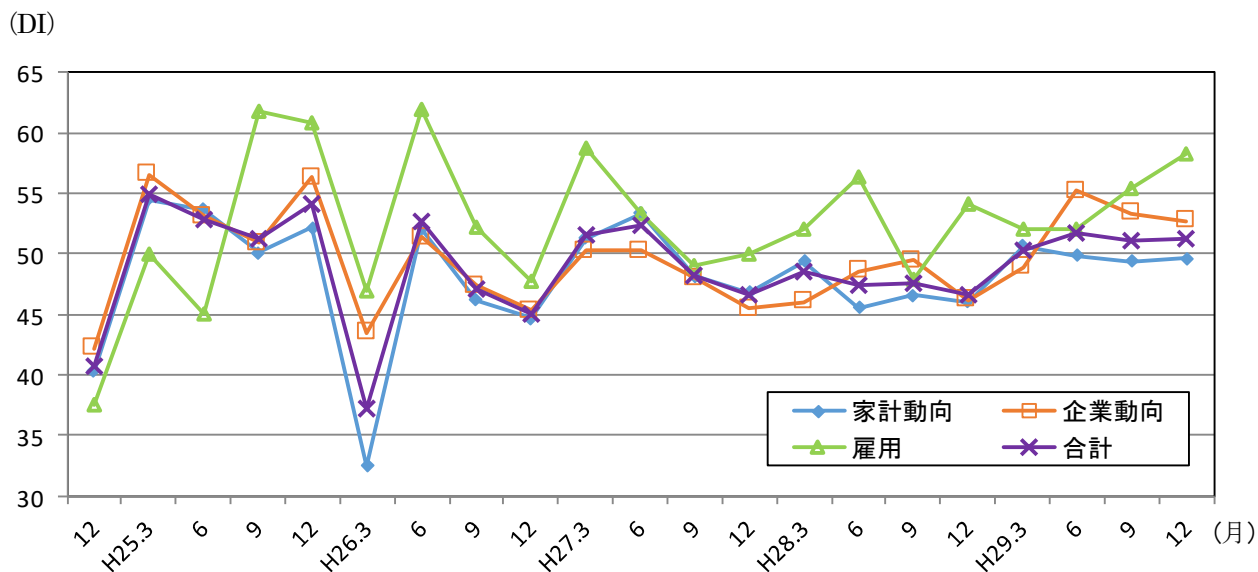
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年	平成29年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		46.7	50.3	51.7	51.1	51.3
家計動向関連		46.0	50.7	49.9	49.4	49.6
小売関連		48.2	47.1	48.5	45.7	47.2
飲食関連		42.7	59.1	56.3	54.3	46.9
サービス関連		44.2	51.6	48.7	51.0	52.2
住宅関連		52.8	50.0	52.8	52.8	52.8
企業動向関連		46.2	48.9	55.2	53.4	52.7
農林水産業		31.3	50.0	68.8	60.7	46.9
製造業		45.8	49.5	53.1	52.1	54.1
非製造業		50.0	47.8	55.0	53.6	52.1
雇用関連		54.2	52.1	52.1	55.4	58.3

表1-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年12月	0.7%	17.2%	56.9%	18.6%	6.6%
平成29年3月	1.7%	20.8%	57.6%	16.3%	3.5%
平成29年6月	1.7%	23.1%	58.8%	12.9%	3.4%
平成29年9月	2.1%	20.9%	59.6%	14.4%	3.1%
平成29年12月	2.7%	18.0%	63.3%	13.7%	2.3%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは53.3となった。前回調査より0.8ポイント上昇し、横ばいを表す50を3期連続で上回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年	平成29年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		50.0	46.4	51.7	52.5	53.3
	家計動向関連	45.6	44.5	51.4	48.6	50.7
	企業動向関連	56.6	50.0	53.9	61.8	60.5
	雇用関連	56.3	43.8	43.8	43.8	43.8

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年12月	0.0%	28.1%	47.4%	21.1%	3.5%
平成29年3月	0.0%	16.4%	58.2%	20.0%	5.5%
平成29年6月	1.7%	25.4%	50.8%	22.0%	0.0%
平成29年9月	0.0%	26.7%	58.3%	13.3%	1.7%
平成29年12月	3.3%	28.3%	48.3%	18.3%	1.7%

② 県央地域

景気の現状判断DIは51.3となった。前回調査より0.4ポイント低下したものの、横ばいを表す50を3期連続で上回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年	平成29年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		47.8	48.3	51.7	51.7	51.3
	家計動向関連	44.6	46.7	50.7	50.7	46.8
	企業動向関連	48.4	50.0	50.0	48.4	56.3
	雇用関連	70.0	55.0	65.0	70.0	70.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年12月	3.4%	15.5%	56.9%	17.2%	6.9%
平成29年3月	1.7%	23.7%	42.4%	30.5%	1.7%
平成29年6月	1.7%	27.1%	47.5%	23.7%	0.0%
平成29年9月	5.1%	20.3%	50.8%	23.7%	0.0%
平成29年12月	1.7%	28.3%	43.3%	26.7%	0.0%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは58.3となった。前回調査より10.4ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年	平成29年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		45.2	50.0	51.3	47.9	58.3
	家計動向関連	44.1	51.5	52.2	45.8	56.3
	企業動向関連	44.4	48.5	47.2	48.6	60.5
	雇用関連	55.0	45.0	60.0	60.0	65.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年12月	1.8%	8.8%	63.2%	21.1%	5.3%
平成29年 3月	1.8%	16.1%	62.5%	19.6%	0.0%
平成29年 6月	1.8%	24.6%	52.6%	19.3%	1.8%
平成29年 9月	1.7%	18.6%	52.5%	23.7%	3.4%
平成29年12月	8.3%	28.3%	53.3%	8.3%	1.7%

④ 県南地域

景気の現状判断DIは50.0となった。前回調査より1.4ポイント上昇し、横ばいを表す50となった。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年	平成29年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		49.2	48.3	50.8	48.6	50.0
	家計動向関連	50.7	48.6	50.7	45.6	47.2
	企業動向関連	44.7	47.4	48.7	50.0	55.3
	雇用関連	55.0	50.0	60.0	68.8	50.0

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年12月	3.3%	16.7%	58.3%	16.7%	5.0%
平成29年 3月	1.7%	13.3%	61.7%	23.3%	0.0%
平成29年 6月	3.3%	18.3%	58.3%	18.3%	1.7%
平成29年 9月	0.0%	18.2%	60.0%	20.0%	1.8%
平成29年12月	1.7%	20.0%	58.3%	16.7%	3.3%

⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは44.6となった。前回調査より1.4ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を15期連続で下回った。

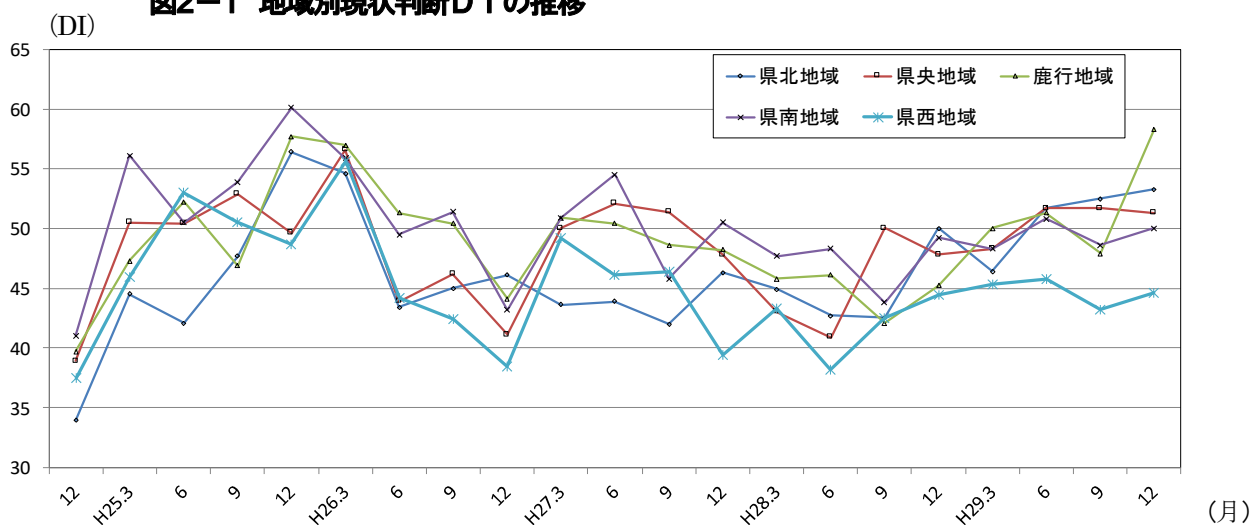
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年	平成29年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		44.4	45.3	45.8	43.2	44.6
家計動向関連		39.7	42.9	42.9	37.1	38.2
企業動向関連		52.6	44.4	43.4	50.0	48.7
雇用関連		45.0	65.0	75.0	60.0	75.0

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年12月	3.4%	19.0%	39.7%	27.6%	10.3%
平成29年 3月	5.2%	15.5%	44.8%	24.1%	10.3%
平成29年 6月	3.4%	22.0%	42.4%	18.6%	13.6%
平成29年 9月	1.7%	16.9%	47.5%	20.3%	13.6%
平成29年12月	0.0%	21.7%	46.7%	20.0%	11.7%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



	24.12	25.3	25.6	25.9	25.12	26.3	26.6	26.9	26.12	27.3	27.6	27.9	27.12	28.3	28.6	28.9	28.12	29.3	29.6	29.9	H29.12月
県全体	38.2	48.9	49.7	50.4	54.3	55.9	46.4	47.0	42.6	48.9	49.4	46.8	46.5	44.9	43.3	44.2	47.3	47.7	50.3	48.8	51.5
県北	33.9	44.5	42.1	47.7	56.4	54.6	43.4	45.0	46.1	43.6	43.9	42.0	46.3	44.9	42.7	42.5	50.0	46.4	51.7	52.5	53.3
県央	38.9	50.5	50.4	52.9	49.6	56.5	43.9	46.2	41.1	50.0	52.1	51.4	47.8	43.0	40.9	50.0	47.8	48.3	51.7	51.7	51.3
鹿行	39.7	47.3	52.2	46.9	57.7	57.0	51.3	50.4	44.1	50.9	50.4	48.6	48.2	45.8	46.1	42.1	45.2	50.0	51.3	47.9	58.3
県南	41.0	56.1	50.5	53.9	60.1	55.9	49.5	51.4	43.6	50.9	54.5	45.8	50.5	47.7	48.3	43.8	49.2	48.3	50.8	48.6	50.0
県西	37.5	45.9	53.0	50.5	48.7	55.6	44.2	42.4	38.4	49.2	46.1	46.4	39.4	43.3	38.2	42.5	44.4	45.3	45.8	43.2	44.6
全国	45.8	57.3	53.0	52.8	55.7	57.9	47.7	47.4	45.2	52.2	51.0	47.5	48.7	45.4	41.2	44.8	51.2 51.4	50.6 47.4	49.9 50.0	49.6 51.1	53.9(原数値) 53.9(季節調整値)

(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは51.3となった。前回調査より3.3ポイント低下したものの、横ばいを表す50を3期連続で上回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年	平成29年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		43.4	48.2	52.1	54.6	51.3
家計動向関連		44.1	47.7	51.4	53.4	51.4
企業動向関連		43.4	47.4	55.3	59.2	52.6
雇用関連		37.5	56.3	43.8	43.8	43.8

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年12月	0.0%	12.3%	57.9%	21.1%	8.8%
平成29年 3月	0.0%	16.4%	63.6%	16.4%	3.6%
平成29年 6月	0.0%	25.4%	59.3%	13.6%	1.7%
平成29年 9月	3.3%	23.3%	61.7%	11.7%	0.0%
平成29年12月	3.3%	18.3%	58.3%	20.0%	0.0%

② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは50.0となった。前回調査より3.4ポイント低下し、横ばいを表す50となった。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年	平成29年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		46.6	56.4	55.1	53.4	50.0
家計動向関連		43.9	58.6	53.3	52.6	48.7
企業動向関連		46.9	53.1	57.8	50.0	48.4
雇用関連		65.0	50.0	60.0	70.0	65.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年12月	0.0%	17.2%	60.3%	13.8%	8.6%
平成29年 3月	1.7%	33.9%	52.5%	11.9%	0.0%
平成29年 6月	5.1%	25.4%	54.2%	15.3%	0.0%
平成29年 9月	3.4%	22.0%	59.3%	15.3%	0.0%
平成29年12月	1.7%	18.3%	60.0%	18.3%	1.7%

③ 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断DIは55.0となった。前回調査より3.3ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年	平成29年
		12月	3月	6月	9月	12月
合 計		46.9	52.2	50.0	51.7	55.0
	家計動向関連	44.9	52.2	47.8	51.4	51.4
	企業動向関連	50.0	54.4	55.6	55.6	59.2
	雇用 関 連	50.0	45.0	45.0	40.0	65.0

表2-16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年12月	0.0%	12.3%	66.7%	17.5%	3.5%
平成29年 3月	3.6%	16.1%	66.1%	14.3%	0.0%
平成29年 6月	0.0%	17.5%	66.7%	14.0%	1.8%
平成29年 9月	0.0%	22.0%	64.4%	11.9%	1.7%
平成29年12月	5.0%	23.3%	60.0%	10.0%	1.7%

④ 県南地域

3か月先の景気の先行き判断DIは51.7となった。前回調査より3.5ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年	平成29年
		12月	3月	6月	9月	12月
合 計		48.8	50.0	54.2	48.2	51.7
	家計動向関連	51.4	52.1	51.4	47.1	50.0
	企業動向関連	42.1	46.1	57.9	47.1	53.9
	雇用 関 連	55.0	50.0	60.0	62.5	55.0

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年12月	1.7%	20.0%	56.7%	15.0%	6.7%
平成29年 3月	1.7%	20.0%	56.7%	20.0%	1.7%
平成29年 6月	1.7%	28.3%	58.3%	8.3%	3.3%
平成29年 9月	0.0%	20.0%	58.2%	16.4%	5.5%
平成29年12月	1.7%	16.7%	70.0%	10.0%	1.7%

⑤ 県西地域

3か月先の景気の先行き判断DIは48.3となった。前回調査より0.8ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を7期連続で下回った。

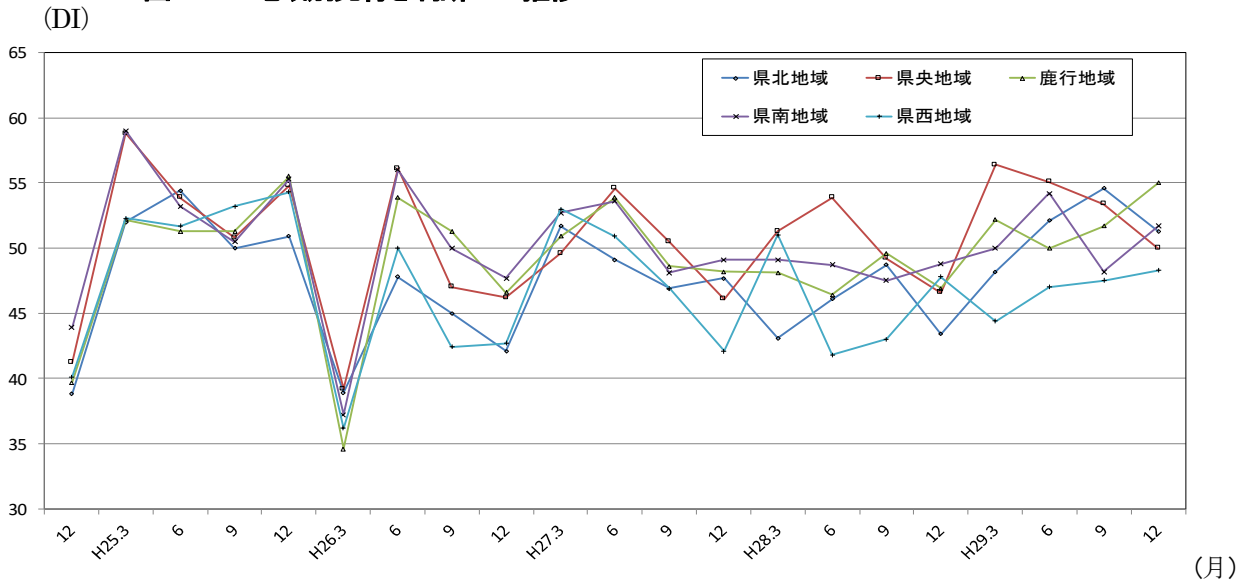
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年	平成29年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		47.8	44.4	47.0	47.5	48.3
家計動向関連		45.6	42.1	45.0	42.1	46.5
企業動向関連		48.7	44.4	50.0	53.9	48.7
雇用関連		60.0	60.0	50.0	60.0	60.0

表2-20 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成28年12月	1.7%	24.1%	43.1%	25.9%	5.2%
平成29年3月	1.7%	17.2%	50.0%	19.0%	12.1%
平成29年6月	1.7%	18.6%	55.9%	13.6%	10.2%
平成29年9月	3.4%	16.9%	54.2%	16.9%	8.5%
平成29年12月	2.8%	11.1%	63.9%	13.9%	8.3%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



	24.12	25.3	25.6	25.9	25.12	26.3	26.6	26.9	26.12	27.3	27.6	27.9	27.12	28.3	28.6	28.9	28.12	29.3	29.6	29.6	H29.12月
県全体	40.7	54.9	52.9	51.2	54.2	37.1	52.7	47.1	45.1	51.6	52.4	48.2	46.6	48.5	47.5	47.6	46.7	50.3	51.7	51.1	51.3
県北	38.8	52.0	54.4	50.0	50.9	38.9	47.8	45.0	42.1	51.7	49.1	46.9	47.7	43.1	46.1	48.7	43.4	48.2	52.1	54.6	51.3
県央	41.2	58.8	53.9	50.8	54.8	38.9	56.1	47.0	46.2	49.6	54.6	50.5	46.1	51.3	53.9	49.2	46.6	56.4	55.1	53.4	50.0
鹿行	39.7	52.2	51.3	51.3	55.5	34.6	53.9	51.3	46.6	50.9	53.9	48.6	48.2	48.1	46.4	49.6	46.9	52.2	50.0	51.7	55.0
県南	43.9	59.0	53.2	50.5	55.3	37.2	56.0	50.0	48.2	52.7	53.6	48.1	49.1	49.1	48.7	47.5	48.8	50.0	54.2	48.2	51.7
県西	40.1	52.3	51.7	53.2	54.3	36.2	50.0	42.4	42.7	53.0	50.9	46.9	42.1	51.0	41.8	43.0	47.8	44.4	47.0	47.5	48.3
全国	51.0	57.5	53.6	54.2	54.2	34.7	53.3	48.7	46.7	53.4	53.5	49.1	48.2	46.7	41.5	48.5	49.0 50.9	49.0 48.1	51.5 50.5	50.4 51.1	51.3(原数値) 52.7(季節調整値)

《調査期間前後の主な出来事》

- 9月～ サンマ、イカ、秋サケの不漁続く
- 9月～ ガソリン価格値上がり続く
- 9/26 大井川知事就任
- 9/29～ 製造業の不正発覚相次ぐ（日産、スバル、神戸製鋼所、東レなど）
- 10月～ 日経平均株価上昇
史上初の16連騰（10月）、約26年ぶりの高値（12/11）
- 11/8 景気回復「いざなぎ景気」超えが確定 戦後2番目の長さ
- 11月～ 冷え込みや雨天で野菜高騰（白菜、キャベツ、大根など）
- 12月 冬ボーナス 県内平均62万173円（2.22か月）僅かに減少
- 12月 年間訪日客数 5年連続で最多更新

III 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

(-：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業（精密機器）	多忙のため、希望納期ではできない仲間が増加している。
		運輸業	毎年年末は忙しいが、今年は特に忙しい。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	年末、年度末に向かって完成する現場が増えているため、やや良くなっていると判断した。
		スーパー	数量ベースでは横這いだが、客単価は上昇している。質の良い商品は客に説明がうまく伝わると購入してもらえる。購買意欲はあるので、売側の努力が必要。
		小売業（時計）	商品を2点購入する人が以前より若干増加している。
		ラーメン店	普段のお客様が多くなっている。
		スナック	昔ほどではないが、会社の飲み会等がたまにあるので、やや良くなっていると判断した。
		観光型ホテル	年末ということもあり、客単価が上昇している。
		観光型ホテル	9月とは客の動きが格段に違うため、やや良くなっている。
		レジャー施設	以前より、利用客の購買力がやや高まっており、客単価も上昇傾向にあるため、やや良くなっていると判断した。
	ゴルフ場	①月初めの予約確保のペースが良くなっている。 ②天候変動が前年対比で、前半で半減している。 ③ホームページの改訂努力で関東周辺からの来場者が増加している。	
	写真店	七五三、成人式の前撮りの時期であるため撮影が増加する。客の注文するカットが多くなってきたので、客の心にゆとりができてきているような気がする。	
	企業	林業関係者	活発な丸太販売が見られ、やや良くなっていると感じる。
		製造業（電気機械器具）	前年と比べ、受注額がやや増加傾向にある。
		製造業（電気機械器具）	半導体関連や有機EL関連顧客からの注文が相当増加している。原子力関連顧客は低調である。
		製造業（化学工業）	取引先からの受注が増加傾向。
製造業（電気機械器具）		生産数及び売上げが上昇しているので、やや良くなっていると判断した。	
運輸附帯サービス業		1. 弊社関連で発注額が上昇している。 2. スーパー、コンビニの客が増加しているような気がする。	
雇用	学校就業関係者	高校生の進路決定が早かったため、やや良くなっていると判断した。	
変わらない	家計	スーパー	業種的に減退している部分はあるが、特徴的な動きは見られず、個人消費も変化はない。
		酒・各種商品小売業	12月はお歳暮時期なので忙しいが、近隣同業店の閉店により、新規顧客は増加したものの既存顧客の受注個数が微減のため全体としては横這い。
		衣料品販売店	依然として客数は変わらない。
		自動車販売店	特段の理由もないが、良くなる要素もなく、特に悪くなるような理由もない。
		農産物直売所	天候に左右されたが、来客数は前年と同じくらいで、一人当りの客単価も変わらない。
		小売業（弁当・惣菜店）	景況感は良くなっているようだが、まだ良いと言える程のものではない。
		小売業（燃料）	燃料、自動車関連商品共に目立った動きや変化はない。
		小売業（水産物）	売上げが横這いのため、良くなっているとは感じない。
		食堂	常連の高齢者は足を運ぶ頻度が減り、若者はチェーン店に集まるため、客数は減少している。どこの業界でも同じだと思う。月3万の小遣いが2万になったとぼやいている。生活が大変だからだと思う。
		観光型ホテル	宿泊、宴会利用共に昨年同期とほぼ同じ状況である。売上げもほぼ横這いである。
		旅行代理店	団体旅行（貸切バス）が3か月前と同様に前年を下回っている。
		タクシー運転手	營收面から見て増収に転じていないため、変化がない。
		タクシー運転手	3か月前と同じ状況である。
		ゴルフ場	相変わらず40代～50代のプレーヤーが減少しているが、60代～70代の客数が増加しているため、プラスマイナスゼロで変わらない。
ゴルフ場	来場者数は増加しているが、単価が減少しており、相対的には変わらない。		
ボウリング場	年末年始の時期であるため、特に団体客の数は多い傾向にあるが、リピーターは多くない。利用者はそれ程多くなく、景況感は変わらない。		
住宅販売会社	ボーナス増額の話はあまり聞かれなかった。		

変 わ ら な い	企業	製造業（食料品）	売上げ、受注等ほぼ変化がない。
		製造業（電気機械器具）	計上される月の作業時間が横這いのため、変わらないと判断した。
		製造業（食料品）	1. 原材料などの値上げにより商品の値上げをしたが、売上げが約10%下がった。経営的に厳しい。 2. お客様も二極化しているようで、安いものが店頭では良く売れている。
		製造業（一般機械器具）	普段の仕事量が変わっていない。客が来る回数が変わっていないように感じる。
		製造業（精密機器）	横這いなので実感はない。悪くなっているとは思わない。
		建設業	公共・民間工事共に積極的に動いている感は少ないので、景気は変わっていないと思う。
		金融業	依然として景気の回復基調を感じることはなく、客の様子等から判断すると、現在の景気は3か月前と変化はない。大規模な設備計画や前向きな資金需要も乏しい状態にある。地域的に見ても開発や大型店舗の出店等はなく消費に変化もない。
		不動産業	サービスキャンペーン等、好条件の商品提供を企画しても客数が増えない。
		情報通信業（情報サービス業）	商談数も特に変化はない。
や や 悪 く な っ て い る	雇用	求人広告	良くも悪くも状況が大きく変化した事案をあまり見聞きしない。
	家計	商店街代表者	前年同期比で売上げが落ちているため、やや悪くなっていると判断した。
		スーパー	ここ1か月から2か月程だが、客数・売上げ共に少しではあるが、減少している。
		小売業（酒類）	複数の得意先飲食店の主人が高齢のため、相次ぎ閉店をしており、販売に影響が出ている。
		ラーメン店	ひとりひとりの客単価が落ちている。麺にプラス餃子から、麺類のみが多くなった。アルコールも少し控えめになった。
		タクシー運転手	12月下旬はタクシー業界では一年で一番の繁忙期であり、今の時期の売上げ内訳の一番は忘年会等の飲食に伴うものだ。ただ、忘年会は一次会のみで帰宅等、売上げ減少を助長する要素が多くなってきた傾向がある。以前のように多くの方がパーッとお金を使ってくれない。このような理由から、やや悪くなっていると判断した。
		ドライブイン	行楽シーズンの週末は雨が降ってしまった。悪天候が響き、昨年と比較して売上げ、客数共に8%の減少となった。
	企業	水産業関係者	ガソリンや灯油等、燃料の高騰のため、景気はやや悪い。
		製造業（輸送用機械器具）	大手自動車メーカーの無資格者による不正検査問題に伴い生産が減少しており、その影響により年休行使や残業抑制等の対応を余儀なくされている。当初の情報より長期化しており、早期の収束が望まれる。
雇用	公共職業安定所	求人はたくさんあるが、来所される求職者が少なく紹介件数が上がらない。	
	求人開拓員	ガソリン価格の値上がりで、レギュラー1Lあたり135円～139円の間のところと135円のところがある。灯油も1Lあたり、72円～77円と年末に来て生活費を圧迫している。 求人募集についても大手家電メーカーの採用予定が1か月程ずれ込んで担当の派遣会社等は困っている様子だった。	
悪	家計	コンビニエンスストア	担当する日立市エリアは客数減が続いている。地元大手企業の景況からも、消費心理は停滞しているものと考ええる。

(2) 県央地域 【現状】

回答	分野		
良	企業	製造業(精密機械器具)	現場設置用の全自動タイプの高額装置が受注・売上げに寄与している。
	家計	百貨店	3か月前と今月の前年比を比べると、伸び率は良くなっている。
		楽器販売	ここ数年動きがなかった高額商品の問合せや受注が増加した。
		割烹料理店	忘年会シーズンなので、3か月前よりは良くなっているが、例年よりは寂しい気がする。12月中盤から後半に期待。
		観光型ホテル	9月以降、ほぼ予定通りの集客がある。
		旅行代理店	旅行需要が伸び、景気は上向していると判断する。
		ゴルフ場	来場者数が3か月前と比較して1割程増加している。
		理・美容店	9月に比べると、記入時現在(12月前半)の来客数が増えているように思う。今年も残りわずかなので、後半忙しくなることを期待。
		住宅販売会社	来店数が戻ってきた。土地の動きも良く、客の購買意欲も高い。
	企業	農業関係者	秋の収穫を終えて販売代金による収入があり、本年度当地においては水稲や粟等が不作であったが、例年より少なくなかった。
		製造業(一般機械器具)	作業量が多少増加してきた。
		建設業	購買意欲が見られる。
		運輸業(道路貨物運送業)	例年以上に貨物の輸送量が増えている。
		サービス業(広告業)	集客効果が厳しかったためか、8~10月の広告宣伝件数は、昨年より10%も低下し消極的な印象であったが、その後回復してきたので、やや良くなっていると判断した。
	雇用	人材派遣業	売上、利益とも良くなってきている。客の景気も良くなってきている様子。
		公共職業安定所	有効求職者数は54か月連続で前年同月を下回り、有効求人数は10か月連続で前年同月を上回っていることから、有効求人倍率は1.72倍と57か月連続で前年同月を上回っている。引き続き高い水準で推移しているが、賃金上昇や正社員の求人の増加はそれほど見られない。人手不足が深刻化している職種が多くなっており、受注制限や営業時間の短縮など景気に対する負の側面が表れ始めている。
		学校就業関係者	新卒の求人件数、内定状況については好調。しかし求人情報の大学生給与単価については変動がない。(人手不足と雇用の実態にアンバランス感がある。)
		求人開拓員	求人検索、相談等の利用者数は、前回(9月)と比較して、初回来館者数、リピート率共にやや減少気味である。紹介状発行件数及び就職決定者は内職も含め、いずれも増加傾向にあるが、数値的に際立ったものとはなっていない状況である。以上のことから、雇用情勢から見た景況は緩やかに良くなっていると判断する。
	変わらない	家計	商店街代表者
商店街代表者			景気が悪い状態が続いている。来店客も売上げも数年間回復していない。毎年、気が付かないくらいの微小な減少をしており、数年前と比較すると3割減くらいになっている。
百貨店			3か月前と変わらず、ほぼ横這いの状態のため、変わらないと判断した。
スーパー			御来店されるお客様の購買点数、購買単価に大きな変化は見られない。また、高単価品の購買動向も以前と変わらない。
コンビニエンスストア			良くも悪くもなっていないように感じる。
小売業			売上げ、客数共に前年並みの数字で推移しているため、変わらないと判断した。
農産物直売所			商品の売れ行きは例年と変わらず、3か月前と同じく前年並みで推移している。
レストラン			特に変わらない。
レストラン			忘年会、クリスマス等で普段よりは忙しい時期に入っているが、予約状況、客単価の伸びはなく、例年と変わらない。
都市型ホテル			変化が見られない。
バス運転手			毎日の運賃箱の収入を見て、変わらないと判断した。
タクシー運転手			乗車回数と売上げ共に前年比で変わらないので、全体的な景気としては、3か月前と比較しても変わらない感じがする。
タクシー会社			一日当たりの平均売上額(乗務員一人当たり)に、あまり変動がない。
タクシー会社			特に変化のないように思える。観光客の予約状況から若干の伸びを感じるが、既存の客が減少傾向にあり、法人・個人の利用頻度が低下している。なお子育て支援事業の取り組みが評価され、利用が伸びており、総合的に大きな変化はないものと判断する。
レジャー施設			3か月前と比較して、「やや良くなっている」ほど客の動きが感じられない。決して悪くなっている訳ではないが、今一歩がない。県内外を問わず、朝一番に来館する動きがなくなり、10時を過ぎてから動く傾向が見られる。高速道路が便利になり、様々な観光施設への出足が遅くなったところから、変わらないと判断した。
ゲームセンター			近隣競合店の1店が閉店してはいるものの、実績として数字が上がっているという印象は感じられない。特に平日に関しては、閉店した店からの客が流れてきている印象はない。
スーパー銭湯	10月の天候不順による屋内施設の利用者増や11月の各地の各イベントによる集客により賑わいを感じることはできたが、好況感を感じるほどではなかったと思う。毎日のようにマスコミから聞こえてくる暗いニュースが今後の景気に影響を与えなければ良いと思っている。		
建築設計事務所	引き合いの話が依然少ない状況であり、物件も遠くなる傾向である。		

変わらない	企業	製造業(食料品)	OEM受注数がやや回復したが、景気の影響とは言い難い。
		製造業(印刷・同関連業)	年賀状印刷はややあるものの、全体の印刷物の量は月並みなので変わらない状態だ。
		製造業(窯業・土石製品)	特に変化が見られないので変わらないと判断した。
		製造業(金属製品)	仕事量は増加傾向であるが、出荷時期や仕様決定の遅延により思うように仕事をこなせない状況だ。
		金融業	景気は緩やかに持ち直しており、企業収益は改善している等の報道があるが当組合取引先の零細企業等の客においては特段変化はなく、景気が上向いているようには感じられない。また増収・増益の取引企業もあるが、設備投資等には至っていない。
		工務店	変わった感じは見受けられなかった。
		サービス業(コンサルタント業)	前年と同程度の注文数であるため、変わらないと判断した。
やや悪くなっている	雇用	求人広告	特に良い話を聞かない。
	家計	スーパー	全体的な物価上昇により消費者は買い控えの動向が強い。
		スーパー	客数が微減。
		スーパー	増税や値上げの話があったり、また野菜類の価格上昇で、財布の紐は益々固くなってきたようだ。
		スーパー	客数はほとんど変わらないが、客単価が低下しているため、やや悪くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	天候が少なからず影響していると思われるが、3か月前に比べ、客数・客単価共に減少しており、景気はやや悪くなっていると判断しました。
		自動車販売店	販売台数が減少しつつある。特に10月中旬以降、来店数、販売台数が減少している。
		レストラン	打合せの中で予算面を下げてくる企業が増加している。
		都市型ホテル	例年10月頃より現在の予約が伸びるはずだが、対前年でも2~3割の減少となっており、お客様からも、景気が回復してきた話は聞こえないので、やや悪くなっていると判断した。
		旅行会社	運輸業なのだが、電話の問合せも例年より少なくなっている。
		ドライブイン	この時期は、園の庭も来年の梅まつりに向けて手入れなど準備をしているところである。当店も、この時期は一年で一番お客様が少ない。
		観光名所	時期的に毎年客数は減少するのだが、今年は特に少ない。少ない上に客単価も低いので、利益も前年に比べて減少している。
		レジャー施設	契約者がわずかだが、減少した。
ペット美容室	年末は客足が伸びるが、同業者の増加により年々減少傾向にある。		
企業	製造業(食料品)	商品の売行きが鈍い。	
	製造業(印刷・同関連業)	毎月の売上げ等からやや悪くなっていると判断した。	
	不動産業	契約件数は変わらないが平均単価が減少している。	
悪	-	-	-

(3) 鹿行地域 【現状】

回答	分野		
良くなる なっている	家計	小売業	新規顧客が増加した。
		運転代行	平日の予約も多くなった。12月は特に配車できないほどの忙しさである。
	企業	製造業（化学工業）	当社業績好調。
建設業		年末なので、着工棟数が多い。11月から12月までにかけて、受注棟数が多い。	
やや良くなる なっている	家計	コンビニエンスストア	客の来店数に変化は見られないが、購入点数や客単価は上昇傾向になっている。
		コンビニエンスストア	自店舗や周辺の同チェーンは、前年より好調なためやや良くなっていると判断した。
		小売業（食品）	茨城よりわずかではあるが、埼玉、神奈川、東京の客単価が増加しているようだ。
		小売業（書店）	ラッピングの要望が増加した。一人当たりの購入点数も増加している。
		割烹料理店	繁忙期ではあるが、予算の設定が例年より高めの客が多い気がする。
		日本料理店	企業の動きが良くなってきている。株高の影響なのだろうか。
		観光型ホテル	客単価が少し上昇したように思われる。
		ドライブイン	特に9月・10月は雨の日や台風が多かったため、来客数等に影響を及ぼした。
企業	企業	レジャー施設	今日は商談数や客からの問合せが増えているため、やや良くなっていると判断した。
		住宅販売会社	上期後半から集客増が続いている。本格的に家づくりを検討している客が確実に増えた。
		農業関係者	野菜類については、天候不順が影響し生育状況が悪い状態が続いた。そのため販売単価ベースでは、需要と供給との関係からか、単価高の傾向が強く働き、販売売上げは全体として伸びた。
		製造業（電気機械器具）	新規の引き合いが増え、また、受注もまずまず。
		製造業（金属製品）	全業種ではないが、受注量は増えている。（製造業等の場合）
		運輸業（道路貨物運送業）	鋼材の荷動きが活発になってきている。
		金融業	前年の売上げの増加率と比べて改善傾向にある業種が見られ始めている。
	保険業	サラリーマンの給料に変化はないが、農家の米作の人は2割増収で、畑作の人は3割増収になっている。	
雇用	求人開拓員	求人開拓のために事業所を行くと、パートの求人にはある程度応募があるが、フルタイムの求人では以前と比べると応募者がかなり減少しており、中には一人も応募がないとのことで、求職者の数が少なくなっているのか条件が良くないのか考えさせられてしまうようだ。このような話から、景気は徐々にではあるが良くなってきていると思われる。	
変わ らない	家計	商店街代表者	景気を底上げする要因に乏しく、可もなく不可もなくと言う状況である。
		スーパー	客数は前年比と変わらない。
		スーパー	10月の、特に週末の天候は雨が多く、来客数に影響が出て悪かったが、3か月全体で見れば、売上げがほぼ横這いなので、変わらないと判断した。
		衣料品販売店	欲しいものをリストアップし、金額も「いくらまで」と決めてから来店される人が多くなり、「ついでに」や「なんとなく気に入って」と買わないお客様が増えた。
		家電販売店	売上げ、客数、客単価いずれも前年と概ね変わらず、3か月前と同様に推移している。
		農産物直売所	客数や、客単価に変化はなく変わった様子もない。
		小売業（菓子類）	9月の売上げの前年比と今月の売上げの前年比がほぼ同じである。
		小売業（薬品店）	来客数、客単価において特に変化は見られない。
		小売業（薬品店）	客の買物の様子がさして変わりが無い。
		和食レストラン	来客数、客単価共に横這いである。企業は好業績だと言われているが、個人の家計にまではお金が落ちておらず、消費回復に至っていない。
		洋食食堂	通年で110%の売上げだったが、11月は101%（9月－113%、10月－113%）とブレーキが掛かりつつある。
		観光型ホテル	特に変動は見られない。
		タクシー運転手	どこを見ても景気が上向いたと思えること、感じることは何一つない。時節的（年末年始、暖房関連等）に購買力が上がっても、景気上昇の要因にはならない。
		ゴルフ場	売上げと来場者数は前年並み。
		レジャー施設	客数は若干減少しているものの、客単価が上昇しているため、プラスマイナスゼロの状態である。
		理・美容店	景気の良い人と悪い人が極端である。
		理・美容店	少し来店サイクルが長くなってきているので、横這い気味。年末に合わせて来店を遅らせる客が多い。
住宅販売会社	売上げに顕著な変化がない。		

変 わ ら な い	企業	製造業（食料品）	去年からそうだが、イベントなどでお客様があまりお金を使わない感じがする。
		製造業（食料品）	お祝い事やお歳暮など年々多少ではあるが少なくなっている。日用品やお遣い物なども増えてはいない。
		製造業（食料品）	衆議院選挙で与党が勝利して国政は安定しているが、景気浮揚には結びついていない。
		製造業（鉄鋼業）	特段景気が良くなる材料は見受けられない。
		建設業	年度末を控え、景気上昇傾向と言われるが、そのような感じはしない。
		運輸業（道路貨物運送業）	貨物に関しての輸出入の作業が出てきている。往復運送の動きが続いている。
		不動産業	総合的に判断してもあまり変わらないような気がする。年度末を控えても今一つ盛り上がりが見えない。
		内装工事業	今後、人が増えるのではなく、いなくなりつつある現状を目の当たりにし消費が拡大するとは思えない。
雇用	民間職業紹介業	求職者（登録者）が少なく、マッチングが図れない状況が続いている。	
	公共職業安定所	有効求人倍率の高止まり感がある。（求人倍率は1.6倍台を推移している。）	
	学校就職関係者	求人状況等は、依然として求職者を求める企業が多いが、その他良くなっていると思える材料がない。	
やや悪くなっている	家計	農産物直売所	集客数は去年対比で伸びているが、一人当たりの単価が少なくなって売上げが下がっているため、やや悪くなっていると判断した。
		タクシー運転手	12月に入って月初めということもあるが、あまり人が出歩いていないように思う。財布の紐がぎゅっと縛られている感じがする。
		クリーニング店	周りの農家の人の話では、10月の長雨、12月に入ると急に寒さが増して野菜（さつまいも）の生育が悪いそうだ。
	企業	製造業（食料品）	食品業界は未だにデフレ状態である。人件費、物流費等のコスト増加分の値上げができていないので、やや悪くなっている。
		サービス業	直近において、大手メーカーの不正が相次いで発覚した関係で、部品メーカーがその対応に追われているようであり、全体として繁忙感はあるが、景気が上向いているという実感を持っている客は少ないと感じる。
悪	家計	○	○

(4) 県南地域 【現状】

回答	分野		
良	家計	設計事務所 来客数、問合せ数が上昇している。	
やや良くなっている	家計	ホームセンター 客数は微増だが、客単価は上昇している。要因として高付加価値商品とリフォームの動向が良い。	
		都市型ホテル ホテル利用客の売上では、客単価が上がってきたのでややよくなっているように感じた。宴会・宿泊・レストランも同様であった。中には、厳しい業界もあるようだが、総合的には景気は良くなっていると思えた。	
		タクシー運転手 例年に比べて忘年会の数が増えていると客が話していたので、営業回数が多くなると思う。	
		タクシー運転手 飲みに行く客が多くなっている。	
		住宅販売会社 8月に減少した客が、また戻りつつある。	
	企業	製造業（窯業・土石製品） 当社は公共事業関連企業なので、季節要因もあり良くなってきている。また、資材の価格が値崩れしないのも大きな理由だ。	
		製造業（非鉄金属） 受注状況は、多少増加しており、人手不足感はあるものの、生産は対応できている。	
		建設業 6か月先まで仕事の予定が入っており、安心している。よって景気はやや良くなっている。	
		建設業 3か月前は見積依頼がほとんどなく、一つの工事を淡々とこなしていた。今月は見積依頼が多く、小さな工事でも工期の調整をしながら行っている。お客さんも理解してくれており、来年でも良いと言ってくれている。景気はやや良くなっていると言判断する。	
		不動産業 例年よりも、賃貸・売買共に成約件数が多い。	
		建設業 取引業者からの見積依頼が増加しているので、建物等を建てる計画がたくさんあるようだ。	
	雇用	公共職業安定所 新規・有効求職数が減少である反面、新規・有効求人数が増加傾向であることから、3か月前との比較では、求人の活発な動きが見られる。	
	変わらない	家計	スーパー 売上げ、客数ともそれほど変わっていないため、変わらないと判断した。
			百貨店、総合スーパー 来店客数、売上げ、客の買い方を見ても景気が良くなってきているとは思えない。イベント等では一時的に売上げは良くなるが、通常では売上げは伸びていない。
スーパー 特に変化はない。			
スーパー 客数は99.5%と多少減少したが、客単価が101.0%と3か月前とほとんど変わらない。			
スーパー 自社の客数トレンド、客単価トレンド、販売上位アイテムに変化がないため、変わらないと判断した。			
コンビニエンスストア 客の消費が変わらないと感じている。			
家電販売店 ボーナス支給月だが、客の購入単価は上昇しない。			
百貨店、総合スーパー 当店は、近隣百貨店閉店以降、順調な推移を続けている。週末になると多数の客で混雑している。しかし、来館した客が皆買物袋を持っている訳ではなく、「コト消費」をしていることも考えられる。			
小売業（生花店） 単価の高い商品が動くようになってきている。			
日本料理店 特段、客層や客単価も変わらず、いつもと同じだが、現状維持を常に心掛けている。			
洋食食堂 洋食レストランなので季節要因の影響は大きく、客も食べたくなる季節になっていると思われる。ただ例年通りの忙しさなので変わらないと回答する。			
都市型ホテル 過去3か月から比べると、宴会・レストランの売上げは増加しているが、忘年会等が行われたためであり、実際の景気を見ると変わらないように思われる。			
タクシー運転手 乗車回数が横這いである。夜間の長距離が少ない。マイカーでの送迎が目立つ。			
タクシー運転手 客の会話の内容が変わらない。			
サービスエリア		サービスエリア 平成29年2月の県内圏央道全通に伴い減少した常磐自動車道の交通量は特に変わっておらず、入館者数も減少傾向のままである。高速道路特有の傾向のため、一般社会の景気状況の指標にはならないが、客の動向を見る限り、入館者数の減少はあるものの、各個人の購買意欲は相変わらず高い割合を示している。交通量の増加したエリアにおいては、それなりの売上げを示していることから、前回同様特段の景気の変化はないと判断した。	
		ゴルフ場 円為替や株価の変動による景気の影響は少ないとの話を聞いた。	
		ゴルフ場 9月も今月も客の入りは良い。忘年ゴルフ、年忘れコンペ等慣習があり、比較的活気がある時である。	
		ボウリング場 ゲーム料金に対し敏感で、堅実かつ計画的にプレーしている姿勢に変わりが無い。	
		レジャー施設 特別な変動要因が見られないため、変わらないと判断した。	
		理・美容店 業種によって様々だが、客の話を聞いていると景気は変わらないと言う人が多い。店の売上げから見ても良くはなっていないと思う。	

変 わ ら な い	企業	農業関係者	12月期(初旬まで)の来客数・客単価を今年9月期～と比較すると、どちらも減少傾向だが、これは毎年のものである。前年同期と比較すると、ほぼ変わりはない。
		製造業(食料品)	株価等は上昇しているようだが、一般の人々に恩恵は回って来ていないので変わらないと判断した。
		製造業(金属製品)	状況に変わりはない。
		製造業(食料品)	3か月前と比べて売上げも客単価も変わらない。
		製造業(飲料)	変化はなかった。
		製造業(家具・装備品)	売上げはそこそこだが、景気が良いとは思わない。今の時代だと良いと思わなければいけないのだろうか。
		製造業(その他)	特に受注が増加するわけでもなく、変化がないため、変わらないと判断した。
		製造業(窯業・土石製品)	一部の製品では逼迫するものが出ているが、全体の出荷は前年を下回っている。
		製造業(一般機械器具)	これといった変化がなかったため、変わらないと判断した。
		運輸業(倉庫業)	顧客の体制の変化により、前年比からの落ち込みがあるものの、当社として良くも悪くもなっていないと感じる。
		金融業	各業種における業況は、各種売上高増加率の推移等から3か月前とと比較して変化はないようである。地元では中心市街地活性化の最後の切り札として平成27年度から進めてきた駅前北地区市街地開発ビルのオープンと、同ビルに入る新図書館・市民ギャラリーの記念イベントを開催し、駅前に新たに登場した施設で地元の活性化を図っている。
雇 用	人材派遣業	半導体や自動車等、特定の業種は好調だが、全体で見ると変わっていないと感じる。	
	求人広告	特に変化ない。	
	学校就職関係者	学卒者の雇用状況が年度当初から昨年度よりも良く、3か月前と比べても以前良い状態が続いている。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	農産物直売所	12月は、蓮根の最盛期であり、お歳暮用として大変好評で、売上げアップにつながっているが、これは季節的なものであり、ほかの野菜は、天候不順のため収穫量が少なく、今までにない現状である。
		和食食堂	夕方からの客が減少している。
		和食食堂	来客数が減少している。
		寿司店	土日祭日は忙しいが、普段(平日)は客が少ない。
		旅行代理店	取引先の業種によっては、やや良くなっていると感じられる企業もあるがごく一部である。訪問先での世間話の中で、今一つ元気がない感じがする。納品先である大手企業の一部業務縮小による影響や市場のニーズがあまりにも多様化しているとの話を聞く。
		工場見学案内	見学者数前年比は、9月:126.2%、10月:96.8%、11月:97.6%で進捗しており、12月も前年見学者を下回る見込みである。10月以降秋の行楽シーズンに入ったが、全体的にツアー客の減少が要因である。景況感として、やや悪くなっていると判断する。
雇 用	農業関係者	忘年会シーズンではあるが飲み会等が激減している。本当に必要な物だけを購入している。	
	不動産業	下期に入り、賃貸、売買共に設定した目標に届かず、やや景気が良くないデータが出ている。原因としては業界の競争が激しくなっており、特に小規模業者はかなり厳しい状況である。	
	求人開拓員	企業からの新規求人掲載依頼がやや減少している。	
悪	家計	コンビニエンスストア	客単価が低下している。不景気を意識して買い控えている。
		小売業(米穀)	ようやく29年産の米が出揃った。長い間この仕事に携わっているが、調整が12月までずれ込むことは初めてだ。低温、長雨の影響で仕入価格が上昇し、秋以降二度、三度と仕入価格が上昇している。通常、12月の声を聞くともち米で賑やかになってくるのだが、今ところ皆無である。10月からの運送運賃の値上げも影響が大きい。

(5) 県西地域 【現状】

回答	分野			
良	-	-		
やや良くなっている	家計	ラーメン店	時期的に寒いので、どこの店でも客は入っている。	
		ゴルフ場	一人当たりの来場回数が増加している。(複数回来場。)売店における購買状況も良化している。前年比消費単価も上昇している。	
		レクリエーション施設	前年及びここ最近と比較しても、上回っているため、やや良くなっていると判断した。	
	企業	製造業(印刷・同関連業)	季節商品を扱っている仕事柄、先月、今月と忙しいが、以前に比べると、年賀はがき等を含めて個人でも製作できる時代なので売上げは減少している。仕事上の人間関係や長い付き合いの零細企業等、地方ならではの商売で売上げの減少が最小限になるよう努力している。	
		製造業(窯業・土石製品)	3か月前の予想に反して、ここ5年位の中で最も忙しくなるほど発注があった。これはたまたまの例外であって、2016年～2017年にかけて他の同業者や中国の石材加工メーカー、特に日本向けの墓石製造業者の25%が廃業したとの通知連絡が中国の業者よりあった。	
		製造業(金属製品)	まだまだ注文のロットは少ないものの、件数や新規の引き合いが増加している。	
		建設業	景気の良い悪いは会社によって偏りがあるようだが、建築工事等は忙しいようで、舗装工事(道路工事)も今年は忙しく、年内は手一杯とのことで、やや良くなっている様子だ。	
		不動産業	賃貸・売買とも高額物件の客が増加している。	
	雇用	人材派遣業	人材の依頼が多くなっている。	
		求人広告	大手企業を中心だが、求人の依頼や採用予定を耳にする機会が多くなった。飲食店の客の景気はまだまだ良いとは言えないが、前年に比べれば若干良いと話をしていた。	
		公共職業安定所	求人件数については、前年同月比を1割以上上回り、管内企業の景気動向は雇用状況に関しては引き続き改善が進んでいる。その一方、求職者は1割程度減少していて、人手不足とする企業は全ての業種で続いている。	
		学校就職関係者	求人受付が例年より多く、昨年度の1.5倍もあった。学院生の就職内定率は好調である。	
		求人开拓員	求人数が多く、求職者は仕事を選べる状況である。仕事に就いている人(収入を得ている人)が多くなっているため、消費も良くなっていくのではないかと。	
	変わらない	家計	商店街代表者	良くないままで変わっていない。近くにあった大型スーパーの移転後はひどくなるのみだ。
			スーパー	客の買上状況(客単価)に変化はない。
コンビニエンスストア			地域別に見ると回復しているエリアもあるが、競合他社の出店等による環境の変化から、前年と比べると厳しい状態が続いている。	
家電販売店			ボーナスの支給があったが、売上げは前年と同じである。購入するのに慎重な人が多い。	
農産物直売所			客単価に大幅な変動がないため、変わらないと判断した。	
ホームセンター			商品動向を見ても大きな変化はなく、客数、客単価とも伸びていない。	
ラーメン店			3か月前の業績と変わらない。	
和食レストラン			客は節約指向で無駄を省く傾向にある。マスコミ等では景気上向きとの評があるが、末端、中小企業は逆である。現状は客単価が上昇せず、値上げどころではない。	
都市型ホテル			レストランでは、客足が少し鈍くなっている気がするが、客単価に変化は見られない。宴会等の受注状況も変化がないように思う。仕出しは少しずつ伸びているが、総合的には変わらないと判断した。	
旅行会社			良くなっているところもあるが、悪くなっているところもあり、結果変わらない。	
タクシー運転手			客の動きが悪く、また深夜時間帯の客も少ない。	
ドライブイン			来店客数や客単価を比較した上で、数字が伸び悩んでいる。	
ドライブイン			例年より寒い日が多い割には、来客数の落ち込みはない。購買意欲の変化はなく財布の紐は固いままである。	
ゴルフ場			予約状況により変わらないと判断した。	
商店街代表者			来店客数に変化がない。	
建築設計事務所	仕事はあっても人手不足のため、こなせる仕事量が限られる。			
住宅販売会社	競合が激しく、なかなか受注に結び付かない。			
企業	農業関係者	前年同期よりも景気は向上しているが、前期より、持続的に安定であると判断しているため現状維持と推測する。前年度より、大型機械(300万～800万円)購入者は多くなっている。		
	製造業(印刷・同関連業)	年末の季節要因を除外すれば、変わらないとしか言えない。		
	製造業(化学工業)	市況に大きな変化点はない。		
	製造業(金属製品)	全体的に仕事量が変化していない。		
	製造業(電気機械器具)	受注増により増員した人員体制を維持しており、3か月前と景気は変わらないと判断している。		
	建設業	特に変動を感じないため、変わらないと判断した。		
	金融業	どの業種に関しても、可もなく不可もなく常態を維持している。		
	サービス業(コンサルタント業)	今月は冬季ボーナスの支給月に該当するが、額に大きな変化が見られないことから、支給後も変化はないと思われる。		

やや悪くなっている	家計	スーパー	12月7日現在, 来店客数, 売上点数, 売上金額, 客点数, 客単価, いずれも昨年に近い状況だが, 必要なもの以外は購買を控えているように思われる。
		自動車販売店	新規顧客の来店がない。
		和食食堂	わずかだが, 売上げが減少している。
		旅行代理店	全く良くなっているとは思えない。燃料代が高くなり, 客は減少している。
		タクシー会社	景気が良くない状況なので, 利用者が減少し, 売上げも前年比で大幅減少している。
		タクシー運転手	乗り合いタクシーの客が増加しているので昼間は少ない。夜は飲食店が早く店を閉めるので, 夜の客がいない。
		レジャー施設	例年, 9月から12月にかけての売上げは上昇していたが, 今年の9月から12月にかけての売上げは変化がなく, 今月の景気はやや悪くなっていると思う。
		理・美容店	天候の影響もあると思うが, 来店サイクルが長くなってきた。
企業	農業関係者	マイナス金利政策により, 預金・国債等の運用がうまくいかず, 収益が落ち込んでいる。	
	製造業(窯業・土石製品)	大手企業の取引先では景気が良くなっているような話もあるが, 中小企業では仕入高が続き, それを値上げに繋げることが難しい状況である。	
	製造業(印刷・同関連業)	中心市街地の空洞化が進んでいるが, 水害後さらに進行しているように思える。	
	製造業(窯業・土石製品)	受注残が減少しているため, やや悪くなっていると判断した。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	町に活気がないように思う。
		コンビニエンスストア	近隣にドラッグストアがオープンしたため, 悪くなっていると判断した。
		衣料品販売店	来客数が減少している。
		メガネ・時計販売店	人口減少や大型店の出店により悪くなっていると判断した。
		製茶販売	売上げが上昇しない。御歳暮商品の購入もない。
		クリーニング店	持ち込みの客数が減少している。
企業	製造業(食料品)	良くなっている要素が全くない。	

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	ラーメン店	年末になると飲食業は上昇傾向にあるが、例年に比べ今年は新規事業等の影響により、更に上昇すると思う。
	企業	製造業（精密機器）	現在の横這いから来年は増産になるため良くなると思う。ただし、自動車以外だと思ふ。エンジンがどうなるかで決まると思う。全体的には良くなると思う。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	例年に比べて、受注残の工事の金額が増えているため、やや良くなっていると判断した。
		スーパー	自分のために買物をする人が多く見られる。また、若い夫婦の買物も見られ、外食から内食への変化は進んでいる。
		小売業（時計）	これからは、手取り分が少しずつ増加していくと思われる。
		食堂	正月に宴会が入るため、良くなっていると思う。車の通りが多いので期待している。
		タクシー運転手	平成30年2月9日から平昌冬季オリンピックが開催される。日本人選手の活躍が期待され、その活躍に比例して大会は大いに盛り上がると思う。そしてその後開催される東京オリンピックまで盛り上がりが続いてきたら良いと思う。そのような雰囲気の中での3か月後なので景気はやや良くなっていると思う。
		ゴルフ場	来年3月以降のホテル予約が増加しているため、売上げは多少上がる予想である。
	企業	製造業（電気機械器具）	当面、半導体関連や有機EL関連顧客からの注文の対応が継続しそうである。
		製造業（電気機械器具）	2018年2月頃より、中国向けの新機種が増産となる。
		製造業（輸送用機械器具）	大手自動車メーカーの不正検査問題の早期解決に加え、安全をテーマとした新製品（自動車）を各社が発表しているため販売に結び付くことを期待したい。
		運輸業	毎年年初は貨物量が減少するが、微減程度だと思ふので、やや良くなっていると判断した。
	運輸附帯サービス業	1. 1年先くらいまで受注の予定がある。 2. 派遣先の会社も繁忙で、残業時間が多くなり困っている。	
変わらない	家計	スーパー	特徴的な動きはない。
		酒・各種商品小売業	近隣同業店の閉店により、新規顧客は見込めるが客の購入金額が微減のため、横這いだと思ふ。（平成20年以降微減が続いており、増加が見込めない。）
		コンビニエンスストア	景気が回復する要因が考えられない。
		衣料品販売店	年末年始といってもいつもと変わらない。
		農産物直売所	ガソリン等の値上がりがか心配されるが、変わらないと思ふ。
		小売業（弁当・惣菜店）	売上げに関しては冬場はどうしても減少するが、例年通り推移すると思ふ。ただ、心配なのは人件費、諸物価の上昇が十分に価格に反映されていないので収支がどうなるかだ。
		小売業（燃料）	出費を抑える消費傾向は変わらない。
		小売業（酒類）	景気の良い話は少ない。横這いなら良いと考える。
		小売業（水産物）	他県の観光バスでの来客者が多少増加しているように感じるが、販売は伸び悩んでいる。
		スナック	景気の変化が怖いので、皆財布を心配し、エコカーやエコ家電等にしかお金を使わないように見える。
		観光型ホテル	これからは、より一層個人の満足度が求められるため、変わらないと判断した。
		観光型ホテル	宿泊、宴会利用共に昨年同期とほぼ同じ予約状況である。
		タクシー運転手	客が利用しなければこの商売は成り立たず、今月との変化はないと思ふ。
		タクシー運転手	外交問題等、あまり良い話が聞えてこず、消費に対する意欲が湧かないと思われ
		タクシー運転手	客の財布の紐が固くなっているため、変わらないと判断した。
		ドライブイン	消費等、積極的ではない。いかにお金を掛けずにドライブを楽しむかが客の傾向である。
		レジャー施設	特に変わる大きな要因が見当たらない。
		ゴルフ場	①冬季五輪の盛り上がりが見えない。 ②予約の入り具合は前年のペースで流れている。 ③地方創生の盛り上がりではゴルフへの高騰が期待できそう。 ④シニア層が動くには、楽しいゴルフ企画が必要だと思ふ。
		ゴルフ場	現状では、大きく状況が変わる要因が見えていない。
		ボウリング場	年度末の時期より団体の利用は一時的に増加すると思われるが、一般客の増加は見込めない。景況感是不変。
写真店	できる限りの節約を考えている若者が結構多い。 就職率の伸び率が低く、何度も挑戦し、証明写真を撮りに来ている様子は、この先もあまり変わらず続くと思ふため、変わらないと判断した。		
住宅販売会社	3か月では顕著な動きはなさそう。		

変 わ ら な い	企業	林業関係者	大きな動きは感じられない。
		製造業（電気機械器具）	前年と変化なし。
		製造業（化学工業）	取引先からの受注が増加傾向。
		製造業（一般機械器具）	例年忙しくなる時期ではあるが、特段変わる様子もない。
		建設業	客や金融関係の人からは明るい話が出てこないので、景気は変わらないと思う。
		不動産業	住宅等の大きな買物の追い風になるような材料が少ない。
		情報通信業（情報サービス業）	商談はあるが、なかなか受注には結びつかず、しばらくはこの状況が続くものと思われる。
雇 用	公共職業安定所	現在の様子がもう少し続くと思われる。	
	学校就業関係者	判断理由が見当たらない。	
	求人開拓員	年内で3社のパソコン教室の運営会社が撤退する。地元では1～2社程度になってしまうのではと言われている。 外国人の雇用が介護施設、製造工場で多くなっている現状があり、日本語学校が増加しているのはその背景があると考えられる。 生活費にお金がかかったり、増税や年金の減少等気分的にも経済的にも良くない。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	宅配便の運賃やガソリンの値上げなどが家計を圧迫するため、やや悪くなっている
		スーパー	原因は分からないが、客数等の減少が起きている。
		自動車販売店	景気が良くなっていると実感できるようなことは見当たらないが、来年になれば増税があり、消費者の財布の紐は固くなると予想されるため、やや悪くなっていると判断した。
		ラーメン店	外食にまわすお金が減少してきている様子。サラリーマンの昼食時の来店率が低下した。
		観光型ホテル	ただ漠然とやや悪くなっていると思う。
		旅行代理店	2018年1月～3月の受注状況は、受注件数、受注単価とも前年同期と比較して、前年を下回っている。
企業	水産業関係者	燃料費高騰による影響は顕著である。	
	製造業（食料品）	資材価格や人件費高騰の影響が出始める。	
	製造業（電気機械器具）	海外との価格競争により国内生産が減少し始めている。	
	製造業（食料品）	最近の原油の値上げによる影響が出てくるのではないかと。	
	金融業	高齢化が進み、後継者がいない等要因は様々であるが事業所の廃業、並びに事業売却等が多く見受けられる。更には、若い世代の転出が多い等人口流出も顕著である。商店街も廃れる一方で、町並み、人通り、車の交通量も寂しい。将来の景気については、以上の状況を踏まえると悪くなる見込みが高くなっている。	
雇用	求人広告	もう少し待てば好景気が地方に波及してくるという見込みがなかなかやっとならないまま、厳しい状況下の企業・店舗も増加するのではないかと。	
悪	-	-	-

(2) 県央地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	ドライブイン	天気に左右されるが、多くのお客様の来園を期待して、良くなっていると判断した。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	天皇の退位により新元号に変わることやオリンピック等、国全体のイベントが控えているので関連の仕事が増加するのではないかと期待感がある。
		スーパー	少しずつだが人件費の上昇が続いているので物価上昇と賃金上昇の差が埋まっていると思う。だが、経営者側から見ると賃金上昇分の商品の値上げがしづらいので経営的に厳しい。また人員確保が難しく、閉店する店舗が多くなると思う。
		楽器販売	弊社の取扱商品（楽器）は生活必需品ではないので、不景気になると最初買い控える対象になる傾向がある。だが、そこに投資ができる時は景気が上向きとも言えるため、景気はやや良くなっていると回答する。
		バス運転手	観梅客の輸送で収入が増えると新聞やテレビを見て感じた。
		レジャー施設	1月から3月は、人が動きやすい感はあるので「期待含み」で、やや良くなっていると予測する。徐々にはあるが、東南アジア系の外国人が、海浜公園からの流れだと思いが家族で来館するのを目にする。SNS情報等からの広がりがある背景にあると感じる。
		ペット美容室	個人店舗が増加すると思う。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	企業に対しての見積り数が若干増加している。
		製造業（一般機械器具）	やや良くなるのではないかと考えている。
		人材派遣業	今後も少しずつだが良くなっていく見通し。
	雇用	公共職業安定所	景気の先行指標である新規求人数は前年同月比で増加傾向にある。ただし、求職者数が少ない上に、求人募集の賃金額の上昇が鈍いため、マッチングが困難で、人手不足の解消には繋がりにくい。
		学校就業関係者	企業が人材を求めるニーズの増加に伴い、給与単価が増加していけば期待できる。
変わらない	家計	商店街代表者	悪いまま変わらないと思う。毎年1月は初売りセールを行っているが、来店客、売上単価が増加すれば良いと期待している。
		百貨店	3か月先も今月と同様に売上げは同じであると予測される。
		百貨店	慎重に必要な物だけをよく考えて購入しており、衝動買いするような客は少ないため、変わらないと判断した。
		スーパー	消費者がウキウキするような話題が乏しいので、良くなるのではないかなと思う。
		スーパー	給与等所得に大きな変化も見込まれないため、お客様の購買動向、消費支出にも大きな変化はないと思われる。
		小売業	茨城空港内の店舗のため、以前のような飛行機利用者への割引券発行等の予定がなく、来客、集客数の大幅増加が見込めないため、変わらないと思う。
		農産物直売所	予約注文、飲食の予約状況が今までのペースと変わらない。
		レストラン	個人消費が伸び悩んでいるため、変わらないと思う。
		都市型ホテル	変化が見られない。
		都市型ホテル	先の予約状況も、例年より低く、この先大きな伸びは期待できないので、変わらないと判断した。
		観光型ホテル	先行予約の推移も前年と同じような状況である。
		旅行代理店	年明け（2018年）分は旅行需要が横這いにつき、変わらないと思う。
		旅行会社	今の仕事の入り具合は12月と変わらない。
		タクシー運転手	このところの原油高で燃料費が高騰しているが、それをカバーできる乗車回数と売上げが期待できるため、全体的な景気としては今月と変わらない気がする。
		タクシー会社	観光事業、子育て支援事業等の利用が増加すると思われるが、法人・個人の利用が緩やかに低迷していくと思われる。特に県央地域においては、法人の移転が増加しており、営業拠点を県南地域や県外に移す傾向が見られる。
		ゴルフ場	予約状況から判断すると変わらず推移している。
		ゲームセンター	母体のショッピングセンターにてブラックフライデーのイベントを打ち実績が多少残せてはいるものの、当店への利用が増加している感じはそこまでない。
		スーパー銭湯	寒い時にはより寒い冬になることにより、お金の流れが良くなり、好況を生み出すことに期待したい。明るいマスコミの報道が多くなることで気分的に消費が生まれ、景気が良くなることを期待している。
		レジャー施設	良くも悪くも判断できる材料がない。
		理・美容店	毎年3月は、入学・卒業のシーズンだが、地域的にそれほどの来客は期待できそうにない。
		住宅販売会社	景気の上向きは実感できてきたが、更にこの傾向が続くとは思えない。

変わらない	企業	製造業(食料品)	晴れの日の需要が増加傾向だが、それ以外との落差が開いている。
		製造業(食料品)	希望的観測をしても上昇するとは思えない。
		製造業(金属製品)	受注に繋がらぬ見積りや計画が多数あり、今後忙しい状況が続くと思われる。ただし、原材料、副資材、消耗品等全てが高騰しており価格への転嫁が課題である。
		製造業(精密機械器具)	現状がピークだと思うので、これをベースにした高原状態(横這い状態)が続くと思う。
		建設業	購買意欲が見られるが、継続は見込めず一過性のものと感じる。
		運輸業(道路貨物運送業)	年度末にかけては、通常の運送が予測される。
		不動産業	繁忙期に向けた問合せ数は変わらない。
		サービス業(広告業)	年度末の駆け込みでの広告・ツール作成の案件が、年々減少している。元々大きく販促予算を組んでいないようで、年度内で使い切ると言った話は随分少なくなってきた。
		サービス業(コンサルタント業)	景気の動向が変わる様子がない。
雇用	求人広告	特に良い話を聞かない。	
	求人開拓員	今年4月以降の来館者数は増減はあるものの、ほぼ横ばいである。よって、今後もこの傾向は変わらないと判断した。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	停滞している。政府の景気対策が効いている感じがしない。
		スーパー	客単価が低下傾向のため、重衣料(コート等)を中心に売上げを伸ばすのが厳しい。
		コンビニエンスストア	平日の昼のピーク時や、土日祝日の客単価の低下が夏以降続いており、この傾向はしばらく続くと思われるので、景気はやや悪くなっていると判断した。
		自動車販売店	回復材料が見当たらないため、やや悪くなっていると判断した。
		レストラン	オリンピックや国体関係で問合せが少しずつ来ている。
		タクシー会社	増税の議論が本格化してきたという報道が流れているので、支出を控える傾向に向かうことが予想される。
		観光名所	企業の利益についてや従業員の賃金上昇のニュースが流れているが首都圏のみで、地方では全く景気の良い話は聞かれない。利益の低い必需品のみは売れるが、嗜好品はあまり動きがないので景気が良くなっているとは言えない。
		建築設計事務所	景気が良くなる起爆剤が考えられない。現状を維持するのがやっとなの声が多い。
企業	農業関係者	農閑期となり、農産物の出荷が少なくなるため収入は減少する。	
	製造業(印刷・同関連業)	このところ価格競争が激化しており、利益率は減少傾向である。3か月先も良くなっているとは思えないので、やや悪くなっていると判断した。	
	製造業(印刷・同関連業)	価格競争が続いており、今後も激化していくと考えられる。	
悪	家計	割烹料理店	3か月後の3月という、我々飲食業ではあまり期待できない。

(3) 鹿行地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	企業	製造業（化学工業）	当社業績好調。
		製造業（金属製品）	まだら模様の状況で、各業種とも上昇している。（理由は不明）
	雇用	人材派遣業	1.各社にヒアリングしたところ、仕事量は増加しているが、人員不足に苦慮しているようだ。 2.最近、総務・人事系の求人探しのウェイトが倍になっている。
		家計	商店街代表者
やや良くなっている	家計	小売業（食品）	12月の一人一人の買上金額が上昇しているの、景気が上向いているのではないかと感じた。
		小売業（書店）	発売前商品の注文等が増加している。
		観光型ホテル	宿泊予約が増加しつつある。
		運転代行	売上げが上がってきている。
		タクシー会社	アメリカの株式市場の活況によりドル高が続きそう。
		レジャー施設	年末から明けまでの期間で新製品の導入予定があるため、客の消費が高まることが予想される。
		レジャー施設	来年のシーズンに向けて、客の購入意欲が増していると思うため、やや良くなっていると判断した。
	理・美容店	客単価が少し上昇しているの、売上げがやや増加している。	
	企業	農業関係者	労働力不足が深刻さを増す中、賃金上昇が波及し始めており、今後は、果物等の高品質、高単価の物が売れていくのではないかと考えている。
		製造業（食料品）	3か月先の景気はやや良くなっていると期待したい。
製造業（電気機械器具）		新規案件が増加しており、景気は上向き始めていると思う。今もそうだが、人手不足が心配。	
金融業		国道（124号）沿いに新たな出店が見られ、車等の流れを見ると他県ナンバーも増加しており、人や物流が活発化していると感じられる。	
雇用	公共職業安定所	10月の就職率が18.7%と増加している。これは、今までの条件から緩和を図った結果として、人材を取り込んでいると思料する。この方策を企業が推進するのであれば改善は見られると思料するが、限界はある。	
変わらない	家計	スーパー	普段の買物は節約しているように感じる。
		スーパー	農産物や海産物の一部相場高や原料等の高騰による一部値上げ商品等があり、消費に大きな期待はできない状況が続いている。
		コンビニエンスストア	今年の冬季ボーナスは前年とさほど変わらないため、景気の変動はないと考える。
		コンビニエンスストア	特に良くなる理由が見当たらない。
		衣料品販売店	目的がなければ、来店もしないだろうし、「時間つぶし」で来店される方が増えてくると思われる。
		家電販売店	今年度の四分の三が同じような推移であったため、3か月先も変わらないと判断する。
		農産物直売所	変わる要素がない。消費税が増税になるときは、悪く変わると思う。
		小売業（菓子類）	特に変化があるようには思えない。
		小売業（薬品店）	季節的な変化以外は、特に違いは見られそうにない。
		和食レストラン	3か月では、大きな変動要因は考えられないので、変わらないと判断した。
	家計	洋食食堂	売上げは順調だが、客を迎える態勢を整えることに苦心している。
		割烹料理店	企業の客が多く利用してくれるが、接待などは少ない。コンプライアンスの関係で、なかなか接待活動ができないと言う。
		日本料理店	今月と比べると変わらないと思うが、前年比だと、トータルで良くなりそうだ。ただし、物の価格が上昇してきているので、コースの料理を原価で考えると前年より儲けが少なくなるのではと思い、悩みどころだ。
		海鮮料理店	私どもの店は、開店以来、こんな最悪な年末を迎えたのは初めて。同業者も同じような話をする。地元の人たちも、街から人がいなくなったようだし、本人達も外食するほどの余裕がないと話をしている。
		観光型ホテル	予約状況を見ても変わらないと思う。
		タクシー運転手	日々の生活必需品は必要なのであろうが、それ以外の無駄な出費はしない。この傾向は増々強くなると思う。
		ドライブイン	大きな景気回復が期待できない。
		理・美容店	今の政治を続けている限り、景気は良くなりえないと思う。
		住宅販売会社	年が明ければ、一旦落ち着くのではないかと考える。
		住宅販売会社	良くなる要因が思いつかない。

変 わ ら な い	企業	製造業（食料品）	可処分所得が増えない限り、物価は上がっているのだから、我々の業種は購買力は上がらない。
		製造業（食料品）	政府が賃上げ率に踏み込んだり、最低賃金の大幅アップを指示してきている状況で、果たして本当の景気上昇が実現できるのか疑問である。
		製造業（食料品）	例年と比べて安価な原料もあるが、原料が安いと商品の動きも悪くなるのであまり変わらないと思う。
		製造業（鉄鋼業）	今後景気を大きく動かす材料は見当たらず、現状維持だと思う。
		建設業	景気上向きと言われるが、建設業界は人手不足解消が重大な課題だと思われる。一長一短があり、なかなか解決できることではないと思う。
		運輸業（道路貨物運送業）	荷主要請による時間外、休日対応が増加している割に貨物量は変わらない。
		保険業	収入は増加しているように見えるが、財布の紐は固い。
		不動産業	特に何も変わりそうにない。住宅の着工数が若干少ないような気がする。
		内装工事業	12月に入っても力強い勢いが無い。年度の切り替えの月でも期待できない。
		サービス業	大手メーカーの不正の影響は一部沈静化してきているが、来春まで引きずりそうな雰囲気がある。また今年度は、自動車メーカーからの発注が極端に減少している。開発案件に関わる内容が従来とは変わってきている傾向が続いていることから、新技術が公表されるまでは状況は変わらないと考える。
	火力発電所	好転の材料が見当たらない。	
	雇用	民間職業紹介業	求職者（登録者）が増加する要素が全くない。
		求人開拓員	当支援センターを訪れる在職中で就職活動をしている人の話を聞くと、パート等の求人条件（賃金等）は多少改善されているが、フルタイムでは物価の上昇に対しての賃金の上げ幅が追いついていないように思われるようだ。
やや悪くなっている	家計	農産物直売所	10月以降、葉物が高くなっており、購買意欲が下がっているため、やや悪くなっていると判断した。
		小売業（薬品店）	株価が低下すると思うので、やや悪くなっていると判断した。
		タクシー運転手	都会はわからないが、地域においてはあまり活気が見られないように思う。
		ゴルフ場	気温が下がるにつれ、シニア層の動きが低下。
		クリーニング店	消費税が10%に上がる。その先も上がっていくと思うので、将来への不安がある。
企業	建設業	年明けは着工棟数が減ってくると思う。	
悪	家計	小売業	顧客に対してのアプローチができない。（需要が落ちる。）

(4) 県南地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	設計事務所	業務量が増加している。
やや良くなっている	家計	家電販売店	新生活が始まり、いつもより来店客数が多くなる。
		ホームセンター	少しずつではあるが、新たな取り組みの成果が表れている。イベントによる集客効果が多く見込める。
		旅行代理店	年が明け、期待感もあると思うが、このままではいけない。新年からは様々の方向性に前向きに取り組んで行こうと言う客が見受けられる。
		タクシー運転手	出張で来ている客が一週間程ホテルに滞在するケースが増加しているため、やや良くなっていると判断した。
		ゴルフ場	アメリカの金利政策が、日本に好影響を与えるのではとの期待である。
	企業	製造業（食料品）	希望的観測を含めて変わることを祈っている。
		製造業（窯業・土石製品）	当社は公共事業関連企業なので、季節要因もあり良くなってきている。また、資材の価格が値崩れしないのも大きな理由だ。
		建設業	3か月先は年度末なので、工事量が増えるのは当然だが、見積内容や、予定工事等から判断すると、昨年同時期以上に増えると思われる。よって、景気はやや良くなっていると判断する。
	雇用	公共職業安定所	新規店舗のオープンや新工場の立ち上げ等があり、求人については良好な動きが見られる。
	変わらない	家計	スーパー
百貨店、総合スーパー			現在の客の買い方を含めて今後も変化がないと思われる。
スーパー			要因が見当たらない。
スーパー			今後3か月で客数や客単価に与える影響はないと考えられる。
スーパー			エリアの特性か、自社の客数トレンド、客単価トレンドに変化が少ないため。
コンビニエンスストア			特に変化はないと考える。
百貨店、総合スーパー			来館の目的は様々である。モノ消費もあるが、何か楽しいことを求めた時間の消費も沢山ある。他の行楽地に家族皆で遊びに行くと大変な出費になるので当店に来る人もいると思う。
小売業（生花店）			良くなるような要因が特に見当たらない。
小売業（米穀）			ここ1、2年、相場の先行きが読みずらくなってきている。（商社の参入による影響が大きいと思う。）1～3月までは例年通りだと思う。もしかしたら、例年通りなら良い方なのかもしれない。
和食食堂			今の現状は良くなっていない。
日本料理店			3か月くらいでは、そうそう変わらない。新商品（売店、外売用）を考えている。
洋食食堂			特に変化は感じられないと思う。
都市型ホテル			やや良くなっているところからスタートとなると3か月先はあまり変わらないと見える。宿泊の先行予約状況では多少上向くが、宴会は厳しい状況が見えているので、景気は変わらないと思えた。
都市型ホテル			今後3か月の予約状況を見ると例年と変わらず一人当たりの単価の増減がほぼ無いため、変わらないように思われる。
タクシー運転手			新規の企業契約もなく、駅の客も同じなので変わらないと思う。
タクシー運転手			会社関係、グループ等の飲食会が減少傾向のような感じだ。営業地域内に集客が見込める事業所の開設等がない。

変わらない	家計	タクシー運転手	特に何も変化が見られない。
		サービスエリア	常磐自動車道においては、交通量や入館者数の変動が今後も生じると想定されるが、客個人の消費動向についてはそれほど変化はないと思われ、今後3か月間においても特に影響のある事象は見当たらないことから、景気動向についてはとりあえず変化なしと判断した。
		ゴルフ場	この業種にとって1～2月は「入り」の伸びる時期である。3月に入ると状況は和らいでくる。既にコンペ等の予約が入り出している。
		ボウリング場	シニア層を中心として堅実、計画的にプレーする姿勢に変化は表れないと思う。政府の働き方改革で長時間労働が改善し、空いた時間を青・中年層の人がぜひボウリングに向けてくれたら幸せ。
		理・美容店	株価は上がり、企業は良くなっているのだろうが、社員にはまだまだ恩恵が行き渡っていないようだ。企業の社員が良くならないと私達までに回ってくるのは先の話だと思う。
		理・美容店	変わる要素がない。
		住宅販売会社	今年度は、このままあまり変化がないと思う。
	企業	農業関係者	各注文書の数量や来客数が減少している。返品数が増大している。
		農業関係者	野菜類の高騰は落ち着いたが、米の価格が高いため、客全般における「買い控え傾向」は依然として続いている。
		製造業（金属製品）	所属事業所では、ある程度今年並みと考えられるため、変わらないと判断した。
		製造業（食料品）	特に景気変化の要因は見当たらない。
		製造業（飲料）	時期的に飲料が売れなくなるが、それは毎年のことなので、変わらないと思う。
		製造業（家具・装備品）	客の変化を多少は理解しているが、私共の仕事は今の社会から見捨てられるような気がする。自分のひがみか。
		製造業（その他）	予想もつかない。
		製造業（窯業・土石製品）	売り手市場の影響により中小企業では、人材の確保が難しくなっている。人手不足による業務の遅れが懸念される。
		製造業（非鉄金属）	金属素材や検査体制の不正の影響が出る可能性があるが、影響は僅少と予想。
		製造業（一般機械器具）	変わるような材料が見当たらない。
		建設業	特に変化はないと思う。
		不動産業	特に変化はないと思われるので、変わらないと判断した。
雇用	運輸業（倉庫業）	新規問合せ数は横這いであり、貨物輸送の増加も見込めない。	
	金融業	土木工事・建設業者等の受注は、周辺市町からの依頼が多い状況であるが、地元近隣業者からの情報では、横這いで推移する見込みである。駅前北地区市街地開発計画については、さまざまなイベントを開催して活性化を図っているが、盛り上がりには欠けており現状で推移していくものと思われる。	
	人材派遣業	全体的に繁忙の雰囲気はあるが、実際は人手不足の影響が一番大きいと感じる。	
やや悪くなっている	家計	求人広告	日々、客と接触する上で、好転する要因を耳にしない。
		学校就職関係者	ここ最近において、大きな変化もないことから、変化ないと考えられる。
		コンビニエンスストア	消費増税により意識的に買い控えると思う。
		農産物直売所	天候不順のため、野菜の収穫量が少ない。
		寿司店	皆忙しそうに市場に来ているが、買物の量を少なくしているとのことで、それぞれやりくりしている。
	工場見学案内	見学者やツアー客の減少は今後も継続すると想定している。旅行会社は積極的にツアーを企画してくれるが、直前キャンセルが多く客数増加の兆しが見えてこない。見学者数合計の中でツアー客数シェアは高く、増減が大きく全体に影響する。	
	レジャー施設	今後しばらく、施設改修等によりイベントを主導できないため、一時的に売上げが低下すると予想しているため、やや悪くなっていると判断した。	
企業	不動産業	小規模業者にはかなり厳しい状況が続くと思われる。物件を作っているメーカー、ビルダー型の業者が直営型として台頭しており、我々仲介流通業者は更に厳しくなると思う。	
悪	家計	和食食堂	人材不足によるものと思われる。

(5) 県西地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	家計	商店街代表者	卒業・入学シーズンに入り、現在よりも良くなる見込みだ。	
やや良くなっている	家計	商店街代表者	新年度に向けた商品の売上げに期待する。	
		ラーメン店	時期的に寒いので、どの店でも客は入っている。	
		都市型ホテル	問合せや予約等が少しずつ増加しているように思う。これで客単価が減少しなければと願わずにはいられない。仕入価格は上昇しているが、なかなか価格設定を変更することは難しいのが現状である。	
		ドライブイン	今年の冬季ボーナスは製造業を中心に上昇しているように思える。	
	企業	製造業（窯業・土石製品）	中国の同業者が廃業したり、異業種へ転換等、我々日本の石材加工業者が石材小売工事業者から必ず必要とされる時が来ると思われる。今は我慢の時だと思う。	
		不動産業	賃貸物件の住み替えでグレードアップする傾向がある。	
	雇用	人材派遣業	来年からの依頼もあるため、やや良くなっていると判断した。	
		求人広告	今よりも景気が良くなる兆しが見えてきた。採用の増員や、生産の増産等景気の良い話が客から聞く機会が多くなった。ただし時間が必要な気はするが、遠い話ではないと思う。	
	変わらない	家計	商店街代表者	良くなる要因がない。
			スーパー	客の節約志向は変わらないように感じる。
コンビニエンスストア			環境の変化等、好転する情報はなく、変わらないと考えられる。	
衣料品販売店			新入学・新学期による来客が期待できるが、これは毎年のことである。今年も例年と同じくらいの伸び幅であると思う。	
家電販売店			増税等で買い控える可能性があると考ええる。	
自動車販売店			好転する材料がない。	
農産物直売所			良くなる要因が思い浮かばない。	
和食食堂			残念ながら、良くなる要素が見当たらない。	
日本料理店			外食意欲が高まらない。賃金が上昇しない。	
ラーメン店			皆、先行き不安から萎縮している様子だ。	
和食レストラン			材料が値上げ傾向だが、価格転嫁が難しい。また同業者間の競争だけでなく、コンビニなどの異業種の存在は脅威である。	
旅行会社			良くなる気がしない。良くなるための要因が何もないが、悪くなる要因も今のところはない。	
旅行代理店			良くなる要因が一つもない。寒くなると外出が少なくなり、お金を使わない。年末の計画として「温泉で体調を良くしませんか」とPRをしているが、日帰り温泉めぐりの参加者もいない。	
タクシー会社			今後も急激な景気回復は望めないため、変わらないと判断した。	
タクシー運転手			土・日曜日、祭日はタクシーの動きが特に悪くなり、今後も状況は変わらないと思う。	
ドライブイン			春の行楽シーズンとなるが、景気が良くなる気配は今のところ感じられない。ガソリン価格をはじめ、エネルギー関連の価格が高止まりしており、消費にあまり回らないと感じられる。	
ゴルフ場			2か月先までの予約状況から推測し変わらないと判断した。	
レクリエーション施設			良くも悪くもなるような要因が現時点でないため、変わらないと判断した。	
レジャー施設			特に変化はないので、変わらないと思う。	
理・美容店			男性客の来店サイクルが長くなってきているので、単価が低下している。	
建築設計事務所	仕事はあっても人手不足のため、こなせる仕事量が限られる。			
住宅販売会社	年度が変わるまでは、この状態が続きそうだ。			

変わらない	企業	農業関係者	前年同期よりも景気は向上しているが、前期より、持続的に安定であると判断しているため現状維持と推測する。借入相談等（住宅・農業機械）の問合せが平年より多くなっている。海外旅行の申し込み者でビジネスクラスを希望する人が2組（4名）いた。（平年はエコノミー希望のみ。）
		農業関係者	マイナス金利政策により、預金・国債等の運用がうまくいかず、収益が落ち込んでいる。
		製造業（窯業・土石製品）	新規案件が継続受注となったが、仕入高等により採算が難しい状況となっている。
		製造業（印刷・同関連業）	堤防工事が進み、少し活気づいてはいるが、際立った経済効果はないと思うので、特に大きな変化はないと考える。
		製造業（印刷・同関連業）	悪くなる可能性は排除できないが、期待を込めて、変わらないと予測するしかない。良くなる要因が、当地のような人口減少、高齢化が進む地域には見出せない。
		製造業（化学工業）	中国の旧正月の影響などで例年1～3月は受注がやや落ち込むが、季節要因を除くと変化はない。
		製造業（窯業・土石製品）	良くなる兆しを話す人が居ないので、変わらないと判断した。
		製造業（金属製品）	3か月後年度末を迎え、駆け込み需要がありそうにも思えるが、ない可能性もある。個々の発注元次第ではないか。
		製造業（金属製品）	材料等の値上げの話があるので景気は上向くのかもかもしれないが、まだ変わらないと思う。
		製造業（電気機械器具）	長期的な変動予測は難しいが、この状況は当面継続すると思われる。
		建設業	受注状況が特別、変動していないため、変わらないと判断した。
		建設業	このままの仕事量が続けば良くなってくると思うが、材料、燃料の単価がだいぶ上昇してきているので、プラスマイナスゼロかも知れない。
		金融業	今後3か月では大きな変化はないものと思われる。
		サービス業（コンサルタント業）	大きな変化は感じられない。
変わらない	雇用	公共職業安定所	この先3か月についても人手不足とする企業が多く、一部の企業では仕事はあるのに人出が集まらなく生産活動に支障を来す恐れがあると予想している。また、建設業、建設資材関連製造業では景気拡大はオリンピックまでで、平成30年度以降は受注が減少すると見ている企業もある。
		学校就職関係者	求人における初任給は上がっているが、中小企業の給与水準は変わらないように思う。
		求人开拓員	企業にとっては人手不足の問題があり、景気が上向くかどうかは見通しが立たないため、変わらないと判断した。
やや悪くなっている	家計	スーパー	毎朝青果市場へ出向くが、個人店の仕入れ業者が少なく感じられる。寡占化していることも要因だろうが、社会全体が疲弊しているような気がしてならない。
		メガネ・時計販売店	競合店が強い。商圈が縮小している。
		ホームセンター	2018年度税制改正では個人の負担が増えるので、益々買い控えるようになり、消費は慎重になると思われる。
		タクシー運転手	近くの飲食店で店を閉めたところが多い。
		ゴルフ場	予約状況が前年比較で鈍化している。
	企業	製造業（印刷・同関連業）	季節的に一年の内で売上げが最も減少するのは1、2月だ。3月は期末なので、一生懸命努力し帳尻を合わせるのが例年である。季節に左右されない一年を通して出荷（売上げ）できるヒット商品等を考えるよう社員には発破をかけるがままならない。
悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	ドラッグストアとの競合により客数が減少した。
		製茶販売	良くなる見通しが立たない。
		クリーニング店	ボーナス時期～新年になるが、テレビで景気が良くなっていると言っていることに、疑問を示す客が多いので消費は少ないと思われる。
	企業	製造業（食料品）	良くなる要素が全くない。

III 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	相変わらず大型スーパーや大型ドラッグストアなどの開店が続き、増々、競争が激化しているように感じる。
	スーパー	今までと変化はなく安価商品の販売高は高い。一人当たりの買上げ点数も変わりなく、食費に掛けるお金は減少していると推測する。
	スーパー	「ファミリー」がキーワードになるくらい、外食も含み家族での行動が多く見られる。
	酒・各種商品小売業	自分へのご褒美に、やや高額な商品を購入する客が数人いた。景気が良いと実感している人もいるのかもしれない。
	コンビニエンスストア	朝や夜に道路が空いていることから、車通勤の客が少なくなっている（残業も少なくなっている）と考える。
	衣料品販売店	周辺の店の閉店時間が早くなっている。例えば、19:00閉店から18:00、18:30閉店になっている。
	小売業（弁当・惣菜店）	このところ求人を出してもなかなか応募がない。業界的には慢性的な人手不足である。今年の夏ごろから派遣会社を利用している。簡単な作業は任せられて便利ではあるが、熟練者に育てるのは難しく、長期的な課題になると思う。派遣会社の担当者のお話によるとかなり多くの登録者があり、就労と求人のバランスの悪さを感じる。
	小売業（燃料）	軽自動車やハイブリット等の省エネ車の割合が更に増加し、燃料の節約は進んでいる。
	小売業（酒類）	加熱式タバコに移行している人が多いため、タバコの売上げが減少している。客層が高齢者のため、アルコール飲料の量的販売は期待できない。
	小売業（水産物）	地域住民が少なくなっているのが気になる。
	ラーメン店	建設業の仕事関係者の客から忙しいと聞いている。
	スナック	エコカーの売上げが伸びている。
	ラーメン店	60代以上の主婦の話では景気が悪くなったという。新しくできたチェーン店やコンビニ弁当に客の足が向かうように感じる。
	食堂	若者はお金を使い、年金生活者は二人で一人前という人たちが増加している。
	観光型ホテル	品物の値段に左右されず納得した物や事柄で客の行動が決まる。
	観光型ホテル	茨城県北ジオパークが認定取り消しになってしまった。当方でもポスター等掲示をしていたが、一般人へのPRが足りなかったのだろうか。再認定に向けて協力できることがあれば、協力したいと思う。
	タクシー運転手	日立市内に「さくらアリーナ」が開設し今後国体の会場にもなり、人の動きが活発になると予想される。
	タクシー運転手	勤めている会社を買収された。買収交渉は水面下で遂行され、一般従業員に知らされたのは事後のことだ。私は嘱託勤務だが、正社員の人は先々どうなるか不安だと思う。M&Aは長・短所あると思うが、大きな経済環境のうねりの中で何も知らずに振り回されるのが、一般労働者ということなのだろうか。
	タクシー運転手	物の値段が高くなっているの、買い控えをしている。
	レジャー施設	ここ数か月の間で、チェーン店の飲食店や小売店の新規オープンが目立つ。利益を見込んでのオープンと考えるので、県北地域もやや明るい兆しが見受けられると感じ、今後の茨城県の施策を期待したい。
ゴルフ場	材料原価の高騰が気になる。	
ゴルフ場	①野菜の高騰続く。 ②ゴルフの料金志向が楽しみ。サービスを求める声が出ている。 ③真心のこもったサービスをしないと来場者は増加しない。 ④茨城県内の動きを地方創生の活動にリンクさせてほしいとの声が出ている。	
ゴルフ場	人材募集をしても以前のように応募がなく、採用面で苦勞するようになった。	
写真店	ネットでの購入が増加傾向である。	
住宅販売会社	人口減少エリアである県北地域は、市場的に今後も厳しくなると思われる。	
企業	林業関係者	林業関係ではバイオマス発電関連により、流通部門での需要が多いと感じる。
	製造業（電気機械器具）	人材の確保が難しい。正社員やパートタイマーの求人を出しても応募がない状況である。
	製造業（食料品）	スーパーの店頭で人が買い物をしている品目が少ない。従って、安いもの、欲しいものしか買わないように感じる。
	製造業（化学工業）	新規、中途とも採用が難しくなってきたと思う。
	製造業（電気機械器具）	生産量増加に伴い、中途採用を検討しているが、人材がなかなか見つからない。
	製造業（一般機械器具）	海外のリスク要因が今後どうなるか気になっている。
	製造業（輸送用機械器具）	他業界も自動車の自動運転電動化事業に参入し、新製品の開発が更に加速している。国内経済の起爆剤となることを強く期待したい。
	製造業（精密機器）	半導体、通信は良いが、自動車は良くない。景気は下向くのではないかと思うが、見通しは悪くないと思う。
	運輸業	今年は貨物量が例年より多いと思う。
	金融業	依然として人口流出が多く、残るのは高齢者世代である。地域ぐるみの活性化や若い世代等の人口増加への具体的な進展はないことから、先行きは不透明である。
	不動産業	不動産、住宅業界においては、親が子に資金を提供する事例が増加している。
運輸附帯サービス業	作業量が多くなり、部品入荷が遅れ気味で出荷が間に合わない。	
雇用	求人広告	一般市民は景気が良いというのはどのような事例で実感するのか知りたい。
	求人開拓員	各自治体等で生活困窮者自立支援相談窓口が設置されてから、相談件数は増加傾向が続き、生活保護受給者も増加しており、良い話は聞けない。県北での生活困窮者への「フードバンク」（食糧支援NPO）等の支援も拡大しているのは心配。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	茨城国体開催に関連する仕事が出てきた。
	商店街代表者	印刷業をしており、かつては、できあがった原稿の印刷受注をしていた。最近のお客様の傾向は、文面を作成する段階からの相談を多く受ける。またありきたりではなく、オリジナルの文面だったり、文面の変更や翌日仕上がり、他店では受け付けてもらえなかった、年賀状の宛名名簿ができていない状態からの依頼によりこちらで不明な箇所（文字や郵便番号）を調べてからの印刷と大変な客が多くなった。そのような客の需要があるのかもしれない。お年寄りが電池交換等を電気屋さんやホームセンターに頼んだり、買物難民や高台居住者への宅配、出張販売等の介護サービスの産業が見込める時代になった。
	百貨店	化粧品動きが良い。一部の客ではあるが、高額品についても動きが良い。
	スーパー	地元飲食店の閉店が相次いでいるので個人事業者の救済が必要だと思う。閉店した店舗の人に聞くと消防法の強化や保健所の指導強化による設備投資の負担による閉店が多いそうだ。
	スーパー	ギフト商品の需要が年々低下してきており、消費者のライフスタイルの変化を感じる。
	スーパー	年末年始の人手不足を解消するために、専門店の十数店舗がまとまって求人チラシを入れたが、応募者はわずか1名だった。今、働いている人には申し訳ないが、採用が決まるまでは頑張ってもらいたい。
	コンビニエンスストア	インターネット通販の影響なのか、年末年始の承り商材の動きが例年より鈍い。
	農産物直売所	パートスタッフの募集をしても、昨年よりさらに集まらなくなった。買い出しに来る飲食店オーナーが今年の忘年会の客単価がいまひとつだと言っている。
	楽器販売	ここ数年、防音工事等の高額商品は問合せすらなかったのだが、この夏を過ぎてからは立て続けにあり1件は既に引渡し済みで、1件はまもなく契約することになり、もう1件も進行中と過去にないほどの動きを見せている。また、子どもに対する投資に関してお父さんの関心が得られれば、即断で決まることが増えつつある。
	レストラン	特に変わらない。
	レストラン	プレミアムフライデーの企画を行っているが、まだまだ対象者は少なく、利用も伸びていない。
	割烹料理店	株は上がり、大学生就職率もバブル期並みとは聞くが、世の中お金のどようにまわっているのか疑問である。
	観光型ホテル	個人客についてはイベント等の影響が大きく、一般観光は少し弱含みに感じる。団体客は企業業績が良いためか堅調と思われる。
	旅行代理店	平和産業なので北朝鮮とアメリカの問題等、国際緊張が続くと海外旅行に影響を及ぼす。早く沈静化してほしい。
	バス運転手	週末の金土日で、自家用車が多く、水戸市内のあちらこちらが渋滞で、出歩く人がいるのを感じる。
	タクシー運転手	繁華街自体のお客様の数は今年は好調のように感じる。全体的な好景気感を皆で共有できたら良いと思う。
	タクシー会社	個人の客の意見として、景気動向や個人の税負担から、できるだけ無駄な買物や飲食・交通費等を軽減して貯蓄に専念したり、また、年金や医療費負担等の話題が報道されている中で先行き不安があり、切り詰めて生活するように心掛けているそうだ。
	ドライブイン	今年一年を振り返ってみると、観光地の前のお店なので、花が無いときはお客様も非常に少なく淋しい感じ。インバウンドのお客様はその場で見て帰るより記念に写真など画像に残されて、国内のお客様が少ないとき、例年以上に来園、来店されていたように思う。
	レジャー施設	売店オリジナル商品の大きなぬいぐるみ等は、一定量の販売を継続しているので、景気アップの気配はある。
	ゴルフ場	客が天気予報を見てすぐにキャンセルをしにくる。当日の天気はゴルフをするのに支障がない場合が結構ある。
スーパー銭湯	消費税の引き上げは、前回の引き上げ時に対応しなかった事業所は引き上げ対応が必要になってくると思う。たった2%の引き上げであるが、影響は大きいのではないだろうか。	
ペット美容室	景気の良い人はとても良いと思うが、弱小企業はつらい時期である。	
建築設計事務所	代行の運転手がこんなことを言っていた。「私共を呼んでいただいですぐ来る場合は景気は悪いですよ。」その通りだと思う。忘年会のシーズンのこの時期なのに、代行やタクシーはすぐに利用できる。	
住宅販売会社	購入意欲の高まりを感じる。後は、いかにニーズにあった土地を提案できるかが大きい。	
企業	製造業(食料品)	いつもより値上げの話題が多い。
	製造業(印刷・同関連業)	特に変化はない。
	製造業(印刷・同関連業)	材料費等の値上げが予想される。
	製造業(一般機械器具)	1. ゴルフ場は地元を中心に平日でも沢山の人が入っている。70歳前後の人、女性が多いようだ。 2. 夜の街は人が少なく、スナックやタクシー会社は泣いている。
	製造業(精密機械器具)	ODM先からの特定物資測定装置の発注が好調に推移している。今後、開発途上国への販売を強化するため、好調の継続が見込まれる。
	建設業	慎重な購買意欲に変化はない。
	運輸業(道路貨物運送業)	製造後即出荷するという企業がある。
	金融業	地元では各種イベントが数多く開催されており、各種団体等が地元活性化のために積極的な活動を行っている。
	不動産業	賃貸物件の空室期間が長くなってきている。
	サービス業(広告業)	新聞折込チラシやフリーペーパー等の反響が年々減少している。集客をWebに移行したい要望は多いが、そのための予算がなく、前に進めないケースが多い。「ネットは無料」という考え方は間違っていないが、単純にそうではないことも多い。
雇用	公共職業安定所	人手不足感の強まりから、人材派遣会社の利用や外国人実習生の受け入れを増やしている企業が目立つ。外国人の受け入れに関するハローワークへの相談も若干増加している。
	学校就業関係者	近所で数店の飲食店が新規オープンした。しばらくの間空き店舗となっていたので、これを契機に賑わってもらいたい。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	郊外に新たな大型店の造成がスタートした。旧商店街の減退に拍車が掛かることが懸念される。
	スーパー	日常的な買物の節約指向が見て取れる。
	スーパー	はっきりはつかめないが、世代による消費の変化が新商品等で今後期待できる商品がある場合がある。
	コンビニエンスストア	週末の飲食店は食事のピークの時間帯はどれも混雑しており、人の動きが活発になっている。地元工業エリアでは県外からの労働者が増加している。(他県ナンバーが多い。) 5、10月の交通量が以前よりも多いと感じる。
	衣料品販売店	年代層によって違うが、年配の方は、来店してから欲しいものを探すことが多く、子育て世代の方は、欲しいもの以外は見ないため、「年配の人の方が景気が良いのだろうか。」と思うことがある。
	家電販売店	以前はボーナス支給を見越した前倒しの購入も多かったが、最近は支給後に購入する傾向にある。
	農産物直売所	日本人特有なのかそれとも関心がないのか、日常からは景気の話等聞こえてこない。
	小売業(薬品店)	個人商店は減少が続いていて、町の商店街の活気低下による来客数の低迷が止められない状況になっている。
	小売業	様々な業種の中小法人客から、景気が低迷していると聞く機会が多い。
	和食レストラン	当社の業界では、企業収益が上がっていると思われることから、出店も激しく、店舗供給過多となっている点がある。出店も多いが閉店も多いという状況。お客様も先述のような状況下で、お金を使うところ、使わないところとはっきりしている。
	洋食食堂	売上げは好調が続いているが、人手不足が深刻になっている。アルバイトの学生が来春に卒業した後は店の営業にも支障をきたしそうだ。新人の確保がとても難しい。
	割烹料理店	株価はとてども上がっているらしいが、実感として景気が良いとは思えない。
	日本料理店	忘年会の予算が全体的に高くなっている。前年はだいぶ気にしていたが、今年はざっくりとした予算で、オーバーしても追加予算があるところが多かった。
	海鮮料理店	外食が減っている。
	タクシー運転手	当地はとにかく車が多い。生活手段として欠かせないものだから、車関係の業種は販売台数が増えているのではないかと。
	タクシー運転手	市長が変わり、今後どうなっていくか様子を見たい。
	ドライブイン	土日も仕事をする接客・販売のサービス業の人手不足が深刻である。従業員を募集してもなかなか集まらない。
	理・美容店	長年営業している、個人店のシューズショップが閉店セールを行っている。最初の4～5日間は客でごった返していた。まだまだ安い時ではないと来店しない客が多いと感じた。
クリーニング店	消費税が上がるので、家の新築やリフォームをしている人が増加している。	
住宅販売会社	オリンピックがいよいよ近づき、景気の良い話が聞けるのではないかと。	
企業	農業関係者	ふるさと納税制度により、地元産の農産物等が消費者へのPRを兼ねて前年度より多く取り扱われているので、地元の景気にも影響していると思う。
	製造業(食料品)	上棟式のお餅の注文があったが、後日キャンセルになってしまった。その理由は、お金がかかりすぎるとのことだ。経費削減の意識は強いようである。
	製造業(食料品)	サバの缶詰が健康に良いとの直近のテレビ放送の影響もあり、サバの缶詰全体の荷動きは良くなったが、その一方で不漁による魚価高で値上がりした製品(イカ、サンマ等)の売行きは低調である。
	建設業	高卒新入社員が仕事に慣れ、頑張っている姿はとてども嬉しいことだ。
	建設業	ハウスメーカーが受注が多いようである。地元の良い話が少ない。一部であるが、頑張っているところも2、3ほどある。
	運輸業(道路貨物運送業)	水戸駅南のペDESTリアンデッキの人の流れを見ていると安心することがある。大工町方面まで人の流れが伸びればいつも考えてしまう。
	金融業	人や物の流れを見ると、活発化しているように見える。
	保険業	12月に地元の公民館の外で、イルミネーションの点灯式があった。たくさんの人が集まり、また多くの出店が並び賑わった。
雇用	サービス業	検査やデータ改ざん等の不正が公表されて、製品の確認調査についての引き合いはあるが、マスコミの取り上げ方のレベルと実際では差があるように思われる。当初思っていたよりも少なく、沈静化しているようにも見えるが、具体的な影響が出るのは来春以降になると思われる。
	人材派遣業	前回調査の時は、景気の雰囲気は今一つと感じていたが、この3か月で、何か景気上昇の期待"大"。年度末の影響か?次のタイミングである程度分析できるだろうかと。
	民間職業紹介業	外国人(正規就労資格者)の雇用が増加している。
	公共職業安定所	仕事はあっても、求職者がいないミスマッチ状態がここ数年続いている。
	学校就職関係者	実習などで使用する材料、燃料等が若干価格が上昇している。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	百貨店、総合スーパー	高価格商品でも価値があり、特別な物は売上げが良い。美容、健康商品の動きが良い。子どもに対しては色々とお金を使う人が多い。
	スーパー	2018年6月に、2Km先の工場跡地に大型ショッピングモールが出店する予定があり、その影響が今から気になる。
	スーパー	高単価な物、低単価な物、両方消費するが、最終客単価に変化が見られないので、上限を決めて消費しているようだ。
	コンビニエンスストア	釣りや観光地を巡る行楽客が減少している。
	コンビニエンスストア	少しだが、客の買上点数が増加していると思う。
	農産物直売所	スーパーの野菜の値段が高いため、直売所に来店するお客様が多くなった。
	百貨店、総合スーパー	当店で様々なチャリティーイベントを行うと、成果が上がった声を聞く。多少生活に余力のある人もいると思う。
	小売業（生花店）	ドイツ車（ハイオク仕様）にレギュラーガソリンを入れている車を以前より見かけるようになった。
	小売業（米穀）	スーパーの特売は普通のことだが、今まではレストランやファストフードチェーン等が、値引きをするということはありませんでした。コンビニも値引きが常態化している。おにぎり100円セール、おでん70円均一セール、麺類50円引き等から競争が激しくなっていることが分かる。安さは魅力ではあるが、後々大変になってしまうのではないかと思う。
	和食食堂	12月、1月の忘年会、新年会が少なくなっている。
	和食食堂	特には感じられない。景気回復するのだろうかかと不安ばかりだ。
	日本料理店	3年後の計画で、竜ヶ崎市（店の近辺）で、道の駅を計画している。バス（観光客）などが増えると思う。そのために、今年新商品として「うなぎせんべい」を考えて売り出そうと思っている。
	洋食食堂	インド、スリランカ料理店が多く出店している。
	寿司店	町にお年寄りが多く、活気がない。夜になると人通りがほとんどない。寒さも影響しているのだろうか。
	都市型ホテル	研究学園駅の勢いが止まらない状況に見える。研究学園駅付近の企業進出・住宅建設等人口増も考えられる。つくば駅付近もマンション建設があり人口増が見込める。ただし、地元センターエリアの百貨店等の相次ぐ閉店やクリスマスに向けたイルミネーションがない等この先厳しい状況も見受けられる。
	タクシー運転手	大手の倉庫会社の仕事が始まったので、関係者の仕事が増えると思う。
	タクシー運転手	「景気が悪い」「このご時世に」等の不景気を象徴する言葉を周りから聞かなくなった。
	ゴルフ場	おしなべて、景気が若干上昇する期待感があるようだ。個人消費も若干だが増えつつある。
	ゴルフ場	12月に入って客の様子に活気がある。クリスマス、年の瀬もあり場内が華やかになってきた。
	工場見学案内	工場オリジナルのイベントでは、秋以降個人客の来場は計画通り推移しており、ツアー客とは違った動きをしている。
ボウリング場	年収が多くても身近な娯楽（ボウリング・カラオケ等）には、お金を積極的に使ってもらえない。だが、年収の少ない人のために政府案ではいろんな対策が組まれているようなので期待感を持っている。	
レジャー施設	空きテナントへの新規入店が鈍いように見られる。	
理・美容店	景気が良い人と悪い人の差が激しいと思う。高級車に乗る人もいれば、軽自動車しか乗れない人もいる。	
住宅販売会社	TX沿線のみならず、地元近辺の土地も動き出してきた。	
企業	製造業（食料品）	都市部や大手企業では景気は良いと言われているが、我が町を前年同期と比較すると非常に良くない。
	製造業（家具・装備品）	他でも閉店しているところはあろうと思うが、当商會も数件の閉店があった。だが、店舗を借りる人はいない。商工会議所もいろいろやっているが何か中途半端のような気がする。
	製造業（その他）	取引先に、コスト面においてだいぶ単価を下げられ、価格競争を行っている感じがする。鋼材の値上がりも続き、多く注文を受けることができずと利幅が出ない状況なので、景気が良いとは感じられない。
	製造業（窯業・土石製品）	忘年会シーズンになっているが、代行運転は依頼が多いようで、なかなか対応できない話を最近聞くようになった。町中の景気が良くなってきているのか？
	製造業（非鉄金属）	転職気分が強くなっているように感じる。退職希望者が多少増加している反面、入社希望者も増加している。
	建設業	住宅新築工事での足場が以前より増えてきたのは最近の傾向だが、この頃、外壁塗装等の修繕用足場が多く見られる。そんなに傷んでいない建物もかなりある。財布の紐が緩んできたのだろうか。
	不動産業	数年前から比べると賃貸・売買共に予算が上がっている。
	運輸業（倉庫業）	圏央道の開通により、マルチテナント用の倉庫が増えていくように思われる。建設により施行運搬は一時的に動きが活発化することになると思うが、オリンピック後の景気がどう変化するか動向が気になる。
	金融業	11月に開催されたイベントでは、地元近隣の企業が出店し、盛況を博した。地元キャラクターと遊ぶコーナーでは多くのギャラリーが参加した。11月下旬より地元駅前に、市立図書館と共に新たな芸術文化の発信拠点「市民ギャラリー」がオープンし、そのオープニングとして「茨城県近代美術館移動美術館」を開催する等、中心市街の活性化を図っている。
	不動産業	法人化、デジタル化した業者とアナログ型業者の差が更に広がっており、今後もその傾向は続くと思う。
雇用	人材派遣業	新規の受注が増えているが、増産等ではなく、人手不足による窓口増に感じる。
	公共職業安定所	新規店舗のオープン等、求人についての良好な動きがある反面、少子化の影響もあると思われるが産科医院での事業縮小の動きがあった。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	来年度は大型スーパー跡地の開発に進展があるとのことで、明るい兆しの要因になるはずだ。
	商店街代表者	親しい客が「投信の利息が半分になった」と嘆いていた。そんなこともお金を使わない要因だろうか。
	スーパー	パートタイマーが集まらず困っている。求人難により時間給を上げて対応している。
	コンビニエンスストア	最近、賃金の改定があり、それに伴い店の利益が減少傾向にある。
	製茶販売	良くなっている噂も聞かない。
	和食食堂	晩秋から初冬の天候不順で、葉物野菜が高騰しており、困っている。
	ラーメン店	一般的に良いとは言えないが、普通であると思う。
	日本料理店	働き手が少なくなっている。
	ラーメン店	不穏な世界情勢で落ち込む一方だ。
	和食レストラン	朝、昼、夜の食事時間帯にはどのコンビニも満車に近い状況で、車内で弁当等を食べている。ちなみに、300～600円でおいしく、早く、手軽に食べられる。これが値上げを難しくしている一因かと思う。
	都市型ホテル	深刻な人手不足で近くの飲食店では、日本人以外の人でも雇うようになったと言う。弊社でも、繁忙期は人材派遣に頼らざるを得ない。また、近くの発電所の建設により職人の人達が我々の地域に長期滞在することが決まった。
	旅行代理店	野菜、食品の価格が高くなっている。内容量が少なくなつて以前と同額であったりする。夕方過ぎにスーパーに並んでいる人が多く見られる。割引きになるのを待っている。年末年始も明るい話題はない。
	タクシー運転手	地域の人口減が大きく関係する。
	タクシー運転手	夜の街は、店が開いている所が少ないし、人も歩いていない。
	ドライブイン	サービス業の求人難は深刻さを増してきている。埼玉県に隣接しているが、最低賃金の格差が広がっており、必要な人員が確保できない。
	レクリエーション施設	財布の紐が固くなっていると思うが、イベントなどを行うとある程度はお金を落とすようになっていっているように思える。当施設だけでなく、周りもそう思える。「お金を使わなくなった」というのもあるが、どちらかという「使うときを選ぶようになっていっている」というように感じる。
商店街代表者	一般的な客の消費は良くなっていない。	
建築設計事務所	相変わらず不景気が続いていると認識している人が多く、心情的な不景気も継続中だ。	
住宅販売会社	圏央道開通等、人と物の流れが変わったので、良い方向に動くことを期待している。	
企業	農業関係者	工業用買収・賃貸が地区内及び近隣地域で行われている。
	製造業（窯業・土石製品）	運送会社の値上げによるコストアップが利幅を圧迫しており、続いてダンボールや梱包資材等についても11月より値上げとなり梱包運送費が膨らんでいる。
	製造業（印刷・同関連業）	2018年度予算編成の真只中だが、厚生労働省の予算が大きすぎる。全国の商工業（零細企業）を誰が考えてくれるのか？通称シャッター通りをどうしたらなくせるのか政治家に聞きたい。
	製造業（印刷・同関連業）	首都圏に近い当地域で大規模な水害が発生し、地価の大幅な下落だったり、住宅地としての不安感があるようで明るい話題が少ない。二つの川に挟まれた、水害に弱い地域性を逆転できる良い方策がないものかと思う。
	製造業（印刷・同関連業）	中核病院や道の駅建設が進んでいるが、波及効果はない。宴会や会食に評判の良かったホテルが飲食部門を閉める等、当地域の厳しさが分かる。
	製造業（窯業・土石製品）	得意先への挨拶回りで松島の温泉ホテルをよく利用している。ホテル内は清潔で、行く度に料理は工夫改善されおいしくなっており、宿泊価格も手ごろなので客が多い。やはり客に喜んでもらい、「徳」「得」を感じてもらおうと来てもらえることを確信し、自分の事業に活かしたいと思ひ勉強になった。
	製造業（金属製品）	2020年のオリンピック関連の仕事が出てきている。（当社にはあまり恩恵はない。）
	製造業（金属製品）	人材が確保できないと良く耳にする。
	建設業	天候の影響がかなりあると思う。雨が多く、晴れが少なかったため、仕事の遅れが大きかったようだ。
	金融業	平成29年4月にオープンした「にぎわい広場Waiwaiドームしもつま」と、それに付随してオープンした「サン・SUNさぬま」がオープン以降順調にある。また、平成29年2月の圏央道開通により、市近隣の交通量も増加する等活性化に繋がっているものと思料される。
不動産業	長年、売買の反応がなかった物件の契約が成立している。	
雇用	求人広告	車関連や建機関連の工場で増員や増産が見られる。発注に対して生産が間に合っていないとのことだった。オリンピック関連の設備投資で忙しい様子が伺える。従業員の給料に反映されるのは、半年後程度だと思うが忙しい業種が増加している気がする。
	学校就職関係者	人手不足により、電気工・溶接工等建設関係企業からの求人問合せが多い。